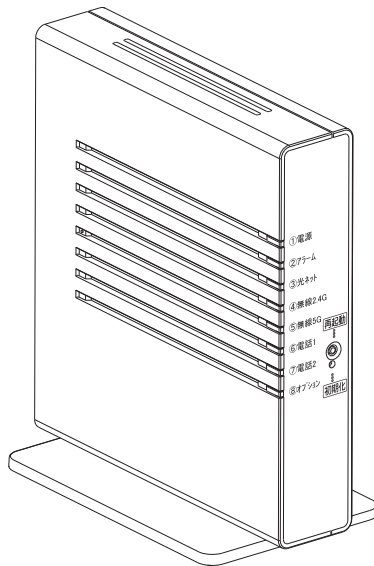


BBIQ光電話無線ルータ

エックスエス エー
形名 XS-5A-01

取扱説明書

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
「取扱説明書」は大切に保存してください。



本製品の側面に貼付された装置情報ラベルの内容をこちらにお控えください。

記載項目	装置情報ラベル内容
PIN コード	
SSID-1 (2.4G)	BBIQRT-
暗号化キー 1	
SSID-2 (2.4G)	BBIQRT-
暗号化キー 2	
SSID-3 (5G)	BBIQRT-
暗号化キー 3	



もくじ

もくじ	3
安全のために必ずお守りください	6
ご利用時のお願い	9
はじめに	18
本製品の特徴	18
BBIQ光電話無線ルータ機能一覧	19
準備	20
セットを確認する	20
各部の名前	21
設置	25
本製品を設置する	25
スタンドを付けて、縦置きにする	25
スタンドを用いて、壁掛けにする	26
接続	28
機器の接続	28
BBIQ光電話	30
電話をかける（発信）	30
電話を受ける（着信）	30
音の一覧	31
設定（BBIQ光電話無線ルータ設定画面）	32
BBIQ光電話無線ルータ設定画面について	32
BBIQ光電話無線ルータ設定画面での設定に対応したブラウザ	33
本章でご案内している操作・設定方法について	33
BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開く	33
BBIQ光電話無線ルータ設定画面を使う	35
BBIQ光電話無線ルータ設定画面を使う	35
契約内容を確認する	36
パソコンを設定する	37
無線ルータ機能をご利用の場合	37
無線ルータ機能をご利用にならない場合	56
設定（BBIQ光電話無線ルータ本体）	69
本体設定のご案内	69

機器設定用パスワードを変更する	69
再起動する	72
初期化する	74
設定を保存・復元する	78
インターネット	83
パソコンを有線接続する場合	83
パソコンを無線接続する場合	83
自動で無線接続する (WPS)	83
手動で無線接続する	92
故障かな?と思ったら	108
仕様	115
ハードウェア仕様	115
BBIQ光電話無線ルータが対応している無線規格と速度について	118
使用許諾条件	120
索引	129

安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ “図記号” の意味は次のとおりです。



設置時にかならずお守りください

警告



屋外、水のかかる場所や湿気の多い場所に設置しない
●漏電して、火災・感電の原因となります。



付属の電源アダプター以外を使用しない
●また、付属の電源アダプターを他の機器に使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



延長コードを使用したり、たこ足配線をしない
●火災の原因となります。



本体を次のような環境に設置しない
●火災・感電の原因となります。
・屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備の近くなどの温度が上がる場所
・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
・湿気が多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
・動作環境（温度0～40℃、湿度10～90% ※結露しない）外の温湿度になるところ

警告



通風孔をふさがない

- 内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 以下のような設置はしないでください。
 - ・横向きに寝かせる
 - ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所



交流100Vで使用する

- 誤った電源を使用すると火災・感電の原因になります。



電源プラグは、刃の根元まで確実に差し込む

- 感電や火災の原因になります。ゆるんだコンセントは使用しないでください。

注意



火災報知器などの自動制御機器の近くに設置しない

- 本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。



医用電気機器を用いる場所には設置しない

- 本製品からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

- ぐらついたり変形した台の上や傾いた場所などに設置すると、落ちたり倒れたりして、ケガの原因になります。



壁に取り付けるときは、必ず付属のネジとスタンドを使用する

- 付属のネジとスタンドを使用してしっかりと取り付けてください。本製品の重みにより落下して、ケガ・破損の原因となることがあります。



壁に取り付けるときは必ず付属の部品を使用する

- 必ず付属品を使用してしっかりと取り付けてください。落下してケガの原因となることがあります。

ご利用時にかならずお守りください

警告



付属の電源アダプター以外を使用しない

- また、付属の電源アダプターを他の機器に使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



延長コードを使用したり、たこ足配線をしない

- 火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因になります。



本体のそばに、水や液体の入った容器、小さな金属類を置かない

- 水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となります。



通風孔をふさがない

- 本体の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 次のような使いかたはしないでください。
 - ・横向きに寝かせる
 - ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・じゅうたんや布団の上に置く
 - ・テーブルクロスなどを掛ける
 - ・毛布や布団をかぶせる



お客様ご自身で分解・修理はしない

- 火災・感電・ケガの原因となります。



電源プラグを抜くときは電源アダプターを持たず、プラグを持って抜く

- 電源アダプターが傷つき、感電・火災の原因となります。

注意



本体の上に乗らない

- 本体が壊れて、ケガの原因になることがあります。



本体の上に重いものを置かない

- 本体が故障して接続機器が誤動作し、事故の原因となることがあります。



使用中は本体を長時間触らない

- 使用中は発熱しますので、低温やけどの原因となることがあります。



お手入れのときは、不安定な台に乗らない

- 落下してケガの原因になることがあります。



電源アダプターはコンセントに確実に差し込む

- 発熱し火災の原因となることがあります。



電源アダプターは定期的に清掃する

- 電源アダプターとコンセントの間にほこりが付着すると火災の原因となることがあります。



電源アダプターを抜き差しする場合は、電源アダプターを抜いてから10秒以上あけてから差し込む

- 本体が故障して接続機器が誤動作し、事故の原因となることがあります。



機器を追加するときは本書に従い接続する

- 間違えると接続機器や回線設備が故障して、誤動作による事故の原因となることがあります。

ご利用時のお願い

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招きます。

- 次のような場所での保管や使用はしないでください。
 - ・直射日光が当たる場所
 - ・風通しや換気が悪い場所
 - ・雨などが直接入り込む場所
 - ・動作環境（温度0～40℃、湿度10～90%※結露しない）外の温湿度になるところ
 - ・ほこりや振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・特定無線局や移動通信体のある屋内
 - ・盗聴防止装置など2.4GHz周波数帯域を利用している装置のある屋内
 - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 縦置きする場合はスタンドを取り付けて設置してください。また、壁掛け設置をする場合は、付属の壁掛け設置用ネジを使用して設置してください。転倒、落下によりケガ・故障の原因となることがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所に置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると通信が不安定になることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・放送局や無線局などが近く、通信が不安定なときは、本製品の設置場所を移動してみてください。
- 本製品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本製品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。この場合は、本製品を無線LAN端末から距離を離し（1m程度）エラーの解除をご確認ください。
- 本製品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。
 - ・台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。
- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 異常時、お手入れ時以外は電源を切らないでください。
- 本製品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプター（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。
- お手入れ時は不安定な踏み台等は使用しないでください。落下してケガの原因になります。
- お手入れ時は乾いた柔らかい布で汚れをふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいた後、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ただし、コネクタ部分はよく絞った状態でもぬれた布では、絶対にふかないでください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本製品に殺虫剤などの揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- お客様または第三者の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご使用にあたって

本製品は、クラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本製品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本製品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 停電時には本製品は使用できません。電源が復旧した後は、動作を確実にするため、一度電源アダプター（電源プラグ）を電源コンセントから抜いた後、10 秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- 本製品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

本製品の使用周波数帯について

本製品は、技術基準適合証明等を受けています。

本製品は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz）、IEEE802.11a 通信利用時は5GHz帯域の電波を使用しています。

5.2GHz帯および5.3GHz帯の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。

5GHzのW53、W56の周波数帯は、5GHz帯気象レーダーなどのレーダー、5.8GHz帯画像伝送およびアマチュア無線などに利用されています。52,56,60,64ch（W53）または100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch（W56）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。

- 通信開始前に1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので通信が中断されることがあります。

本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本製品をお使いになる前に、周囲で「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに以下のいずれかの対応を行ってください。
 - 本製品の使用チャンネルを変更する
 - 本製品の使用場所を変える
 - 本製品の運用を停止（電波の発射を停止）する
- 無線LAN設定2.4GHzの「デュアルチャンネル」、無線LAN設定5GHzの「チャンネル帯域」の「40MHz」と「80MHz」を使用しない設定に変更することで改善する場合があります。
- 無線LAN設定2.4GHzの「デュアルチャンネル」の「使用する」「優先」の設定と、無線LAN設定5GHzの「チャンネル帯域」の「40MHz」「80MHz」の設定は、複数のチャンネルを束ねて使用します。そのため、同一周波数帯を使用する他の無線局、機器との電波干渉が起こりやすくなります。
- 無線LAN設定2.4GHzの「デュアルチャンネル」を「使用する」「優先」、無線LAN設定5GHzの「チャンネル帯域」を「40MHz」「80MHz」に設定する場合は、周囲の電波状況を確認し、他の無線局に電波干渉を及ぼしていないことを事前に確認してください。
- 他の無線局で電波干渉が発生した場合は、速やかに無線LAN設定2.4GHzの「デュアルチャンネル」を「使用しない」、無線LAN設定5GHzの「チャンネル帯域」を「20MHz」に設定を変更してください。

本製品が使用する周波数帯は、本製品背面に貼られているラベルに記載されています。ラベルの見方は以下のとおりです。

• 5GHz 帯の場合

W52	W53	W56
-----	-----	-----

以下のチャンネルが使用できることを示します。

周波数	使用可能チャンネル
W52	36,40,44,48ch
W53	52,56,60,64ch
W56	100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch

J52 (34,38,42,46ch) はサポートしていません。

5GHz 帯を使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線 LAN 装置とだけ通信が可能です。

• 2.4GHz 帯の場合

2.4	DS/OF	4
■	■	■

表示内容	説明
2.4	2.4GHz帯を使用する無線設備であることを示します。
DS/OF	変調方式が、DS-SS方式／OFDM方式を使用していることを示します。
4	想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■ ■ ■	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

無線 LAN 製品ご使用时におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、工場出荷状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありますので、ご理解の上、ご使用ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

対象読者と前提知識

本書は、本製品を導入して、設置および設定を行う方を対象としています。本書を利用するにあたって、以下の知識が必要です。

- 使用する環境のオペレーティングシステムの基本的な知識、および操作方法
- ネットワークに関する基本的な知識

本書で使用しているマーク

本書で使用しているマークは、以下のような内容を表しています。

おしらせ 注意していただきたいことや、してはいけないことを記載しています。必ずお読みください。

補足

本製品に関する補足情報を説明しています。必要に応じてお読みください。

参照

操作方法など関連事項を説明している箇所を記載しています。

登録商標一覧

本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。

- Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Microsoft および Windows、Microsoft Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Windows[®] 8.1 は、Windows[®] 8.1、Windows[®] 8.1 Pro および Windows[®] 8.1 Enterprise の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版および 64 ビット (x64) 版の略として使用しています。
- Windows[®] 8 は、Windows[®] 8、Windows[®] 8 Pro および Windows[®] 8 Enterprise の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版および 64 ビット (x64) 版の略として使用しています。
- Windows[®] 7 は、Windows[®] 7 Starter の日本語版かつ 32 ビット (x86) 版、Windows[®] 7 Home Premium、Windows[®] 7 Professional、Windows[®] 7 Enterprise および Windows[®] 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版および 64 ビット (x64) 版の略として使用しています。
- Apple および Mac、Mac OS、Safari は Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。
- Copyright[®] 2015 Mitsubishi Electric Corp.

その他本書に記載する会社名、システム名、製品名、および商標は、各社の登録商標です。なお、本文中には TM および[®] マークは明記していません。

RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

輸出管理規制について

本製品は、海外為替および外国貿易管理法が定める規制貨物に該当いたします。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

はじめに

このたびは、BBIQ光電話無線ルータをお申し込みいただき誠にありがとうございます。本書には、本製品の設置・配線の仕方から、さまざまな機能の設定方法、困ったときのQ&Aまで詳しく説明していますので、大切に保管してください。

本製品の特徴

本製品の特徴的な機能について説明します。

● つなぐだけネットスタート

本製品をBBIQ回線に接続して電源を入れるだけで、自動的にインターネットへの接続を行う機能です。そのため本製品ではインターネットご利用時に必要な接続アカウント（ログインID、ログインパスワード）の設定は不要です。

● Wi-Fi 通信

- 本製品では、5GHz通信（IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a）と2.4GHz通信（IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b）を同時に利用できます。

- デュアルチャネル機能

無線LAN通信で利用する通信チャネルの幅を、20MHz幅から40MHz幅に拡大することにより、約2倍の通信速度を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。当機能は、無線LAN設定2.4GHzの「デュアルチャネル」を「使用する」「優先」、無線LAN設定5GHzの「チャネル帯域」を「40MHz」に設定すると利用できます。

- クワッドチャネル機能

無線LAN通信で利用する通信チャネルの幅を、20MHzから80MHzに拡大することにより、約4倍の通信速度を実現するクワッドチャネル通信機能を搭載しています。当機能は、無線LAN設定5GHzの「チャネル帯域」を「80MHz」に設定すると利用できます。

補足 通信速度の規格値については「BBIQ光電話無線ルータが対応している無線規格と速度について」（118ページ）をご覧ください。

- オートチャネルセレクトモード

周囲にあるほかの無線LAN機器のチャネルの利用状況をチェックし、電波状態の良いチャネルを自動で設定します。そのため電波干渉の影響が少なく混雑していないチャネルを使用することができます。

- WPS

WPSに対応した機器であれば、Wi-Fiの接続とセキュリティの設定をかんたんに行えます。

補足 各機能の詳細な設定方法については、BBIQ光電話無線ルータ設定画面のヘルプをご覧ください。



BBIQ 光電話無線ルータ機能一覧

本製品には複数の機能が備わっていますが、ご契約内容によって、ご利用いただける機能が異なります。

ご契約いただいている機能は、本製品前面のランプで確認できます。

● 無線ルータ機能

本製品の無線 LAN 接続機能を有効にする機能です。

● BBIQ 光電話アダプタ機能

BBIQ 光電話をご利用いただくためのアダプタとして、本製品を利用するための機能です。

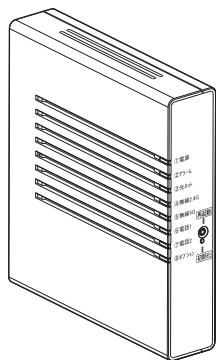
必要なお契約	ご契約時のランプの状態
無線ルータ機能契約	「④無線2.4G」および「⑥無線5G」のランプが「点灯」・「点滅」している ※ 消灯時は未契約
BBIQ光電話契約	「⑥電話1」、「⑦電話2」のランプが「点灯」・「点滅」している ※ 消灯時は未契約

☛ **参照** 本製品前面のランプの詳細な説明は、「前面」(21 ページ)をご覧ください。

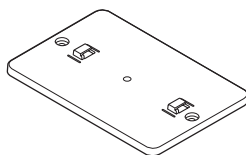
準備

セットを確認する

■ 本体

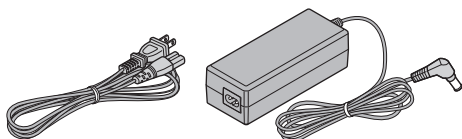


XS-5A-01 (1台)

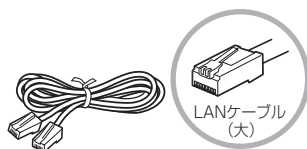


スタンド (1台)

■ 付属品



電源アダプター (1式)
(ACケーブル/1本、ACアダプター/1個)



LANケーブル
(1本/約2m)



電話ケーブル
(2本/2m)



壁掛け設置用ネジ
(2本/16mm)



電話機インターフェース蓋
(1個)



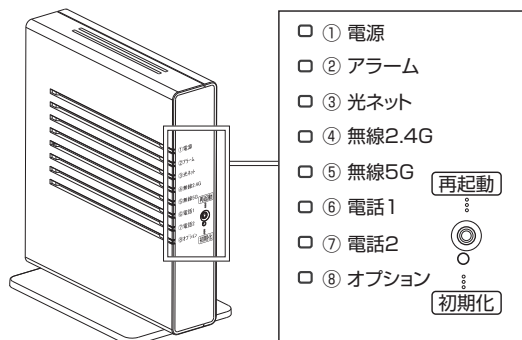
取扱説明書
(本書1部)

● 形状がイラストと異なる場合があります。

各部の名前

本製品各部の名前および機能を説明します。

■ 前面



● ランプ表示

名称	表示 (色)		状態
①電源ランプ	緑	点灯	電源が入っています。
	—	消灯	電源が入っていません。
②アラームランプ	緑	点灯	サーバと接続中です。
	緑	3回点滅	初期化が開始されました。
	橙	点灯	新しいファームウェアがリリースされたときなどです。本体起動中です。
	橙	点滅	サーバとの接続に失敗しました。正常に使用できません。
	赤	点灯	機器に異常が発生しています。
	赤	点滅	サーバとの接続に失敗しました。正常に使用できません。
③光ネットランプ	—	消灯	本体が正常な状態です。
	緑	点灯	IPv4/IPv6アドレスが取得できました。
	緑	3回点滅	初期化が開始されました。
	橙	点滅	インターネット (BBIQ) に接続する前の状態です。
	橙	点灯	IPv4/IPv6アドレスを取得できませんでした。本体起動中です。
	赤	点灯	IPv4/IPv6でインターネット接続に失敗しました。(認証失敗) 機器に異常が発生しています。
—	消灯	インターネット (BBIQ) をご契約されていません。	

準備 (つづき)

④無線2.4Gランプ	緑	点灯	お届け時の状態です。 2.4GHz帯の無線LAN通信が利用可能です。
	緑	3回点滅	初期化が開始されました。
	緑	点滅	2.4GHz帯の無線LAN通信でデータを送受信中です。
	橙	点灯	本体起動中です。
	橙	点滅	無線LAN簡単設定 (WPS) を実行中です。
	赤	点滅	無線LAN簡単設定 (WPS) 実行中の機器が2つ以上検出されました。
	赤	早い点滅	無線LAN簡単設定 (WPS) に失敗しました。
⑤無線5Gランプ	—	消灯	無線ルータ機能をご契約されていません。 無線ルータ機能が有効になっていません。
	緑	点灯	お届け時の状態です。 5GHz帯の無線LAN通信が利用可能です。
	緑	3回点滅	初期化が開始されました。
	緑	点滅	5GHz帯の無線LAN通信でデータを送受信中です。
	橙	点灯	本体起動中です。
	橙	点滅	無線LAN簡単設定 (WPS) を実行中です。
	赤	点滅	無線LAN簡単設定 (WPS) 実行中の機器が2つ以上検出されました。
⑥電話1ランプ	赤	早い点滅	無線LAN簡単設定 (WPS) に失敗しました。
	—	消灯	無線ルータ機能をご契約されていません。 無線ルータ機能が有効になっていません。
	緑	点灯	電話1がご利用可能です。(待ち受け中)
	緑	3回点滅	初期化が開始されました。
	緑	早い点滅	着信中です。
	緑	点滅	通話中です。
	橙	点灯	本体起動中です。
	橙	点滅	受話器外れもしくは相手が話中です。
	赤	点灯	BBIQ光電話サーバとの認証に失敗しました。 機器に異常が発生しています。
赤	点滅	BBIQ光電話サーバとの接続に失敗しました。	
—	消灯	お届け時の状態です。 BBIQ光電話のご契約をされていません。	

⑦電話2ランプ	緑	点灯	電話2がご利用可能です。(待ち受け中)
	緑	3回点滅	初期化が開始されました。
	緑	早い点滅	着信中です。
	緑	点滅	通話中です。
	橙	点灯	本体起動中です。
	橙	点滅	受話器外れもしくは相手が話中です。
	赤	点灯	BBIQ光電話サーバとの認証に失敗しました。 機器に異常が発生しています。
	赤	点滅	BBIQ光電話サーバとの接続に失敗しました。
	—	消灯	お届け時の状態です。 BBIQ光電話のご契約をされていません。
⑧オプションランプ	緑	3回点滅	初期化が開始されました。
	橙	点灯	本体起動中です。
	赤	点灯	機器に異常が発生しています。

補足 早い点滅：点灯 0.25 秒⇔消灯 0.25 秒を繰り返します。
点滅：点灯 0.5 秒⇔消灯 0.5 秒を繰り返します。

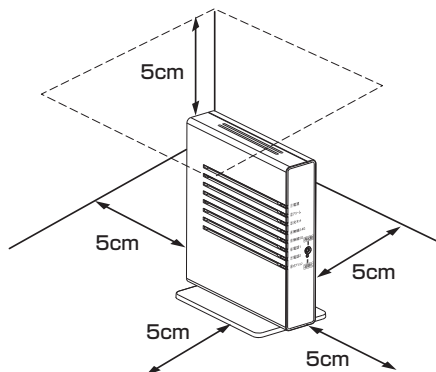
● 設定ボタン

名称	説明
再起動ボタン	本製品を再起動する場合に使用します。
初期化ボタン	本製品を初期化する場合に使用します。

設置

本製品を設置する

本製品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。（壁掛けの場合は除く）



警告

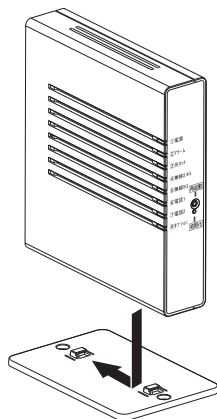
通風孔をふさがない

横向きに寝かせて使用すると内部に熱がこもり、火災の原因になります。

冷蔵庫や TV など、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。本製品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

スタンドを付けて、縦置きにする

図のように、本製品本体に付属のスタンドを付けて縦置きで使用ください。



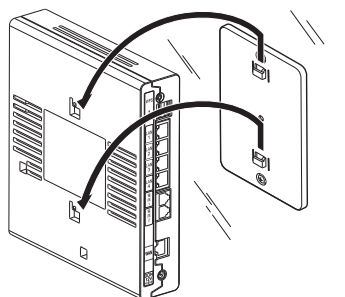
警告

通風孔をふさがない

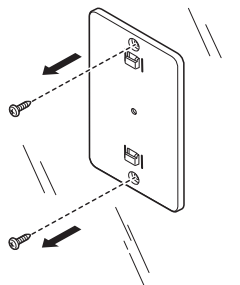
横向きに寝かせて使用すると内部に熱がこもり、火災の原因になります。

■ 取り外しかた

- ①本製品を上をスライドさせて取り外します。このとき、力をかけすぎると本製品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。



- ②付属の壁掛け設置用ネジを壁から取り外し、付属のスタンドを取り外します。

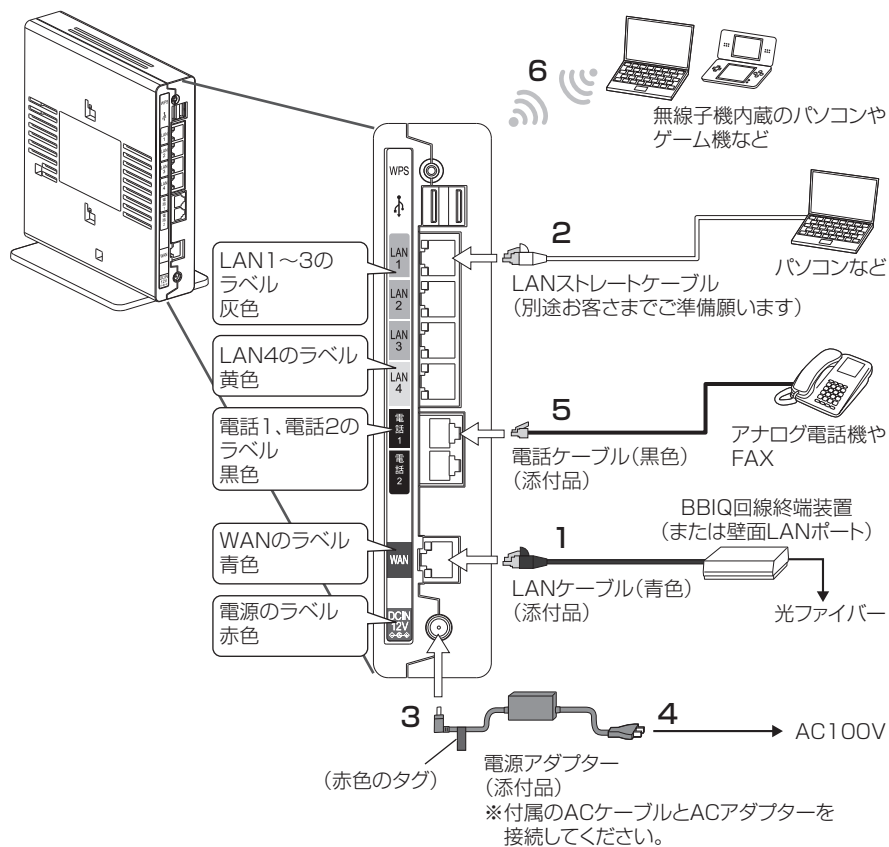


接続

機器の接続

本製品と各種機器の接続について説明します。
以下の図を参考に手順どおり接続してください。
本体背面の接続ポートのラベルの色とケーブルの色が同じ色できるように接続します。(お客様でご準備していただく LAN ストレートケーブルを除く)

参照 本製品背面の各部名称についての詳しい説明は、「背面」(24 ページ) をご覧ください。



1 本製品のWANポート（ラベル色：青色）とBBIQ回線終端装置を添付のLANケーブル（青色）で接続する

添付のケーブルでは長さが不足する場合は、100mを上限にできる限り短い市販のLANケーブルをお使いください。

2 LANポート（ラベル色：灰色 / 黄色）とパソコンをLANストレートケーブルで接続する

LAN1からLAN4のどのポートでも利用できます。4台までのパソコンを直接接続できます。

パソコンを接続する場合のLANストレートケーブルはお客さままでご用意ください。WANポートと同様に100mを上限にできる限り短い市販のLANケーブルをお使いください。

補足 パソコンやゲーム機がない場合は不要です。

3 本製品の電源ポート（ラベル色：赤色）と添付の電源アダプター（赤色のタグ付き）を接続する

4 本製品の電話ポート（ラベル色：黒色）と、アナログ電話機またはFAXを添付の電話ケーブル（黒色）で接続する

電話機のダイヤル種別を以下のどれかに設定してください。

- ・ プッシュ（PB）
- ・ ダイヤルパルス（20PPS）
- ・ ダイヤルパルス（10PPS）

5 電源アダプターをご家庭のコンセントへ接続する

6 本製品と無線子機を接続する

参照 無線接続については、「パソコンを無線接続する場合」（83 ページ）をご覧ください。

BBIQ 光電話

BBIQ光電話ご契約の場合、本製品の電話ランプが緑点灯しています。

電話をかける（発信）

- 1 電話機を受話器を取り上げる**
本製品の電話1ランプまたは電話2ランプが緑点灯します。
- 2 相手先電話番号を押す**
本製品の電話1ランプまたは電話2ランプが緑点滅します。
- 3 相手が出たら話す**
通話が終わるまで、本製品の電話1ランプまたは電話2ランプが緑点滅します。

電話を受ける（着信）

- 1 電話機から着信音になる**
本製品の電話1ランプまたは電話2ランプが緑点滅します。
- 2 受話器を取って話す**
通話が終わるまで、本製品の電話1ランプまたは電話2ランプが緑点滅します。

音の一覧

BBIQ 光電話の音について説明します。

音の種類	音がなる条件
発信音	受話器をあげると、「ツー」という連続音が聞こえます。この音がなっているときに相手先電話番号を押すと、音が止まります。
呼出音	相手を呼び出している間は受話器から「トゥルルルル」と聞こえます。 このときは相手を呼び出し中です。相手が電話に出ると音が止まり、通話できます。
話中音	相手先電話番号を押したときに、相手がお話中だと「ツー、ツー」と受話器から聞こえます。 一度受話器を電話機に置いて、再度電話をかけてください。
保留中表示音	通話中に相手に割込通話サービスなどの通信中着信機能で保留されると保留中を示す音（「トゥルルルル」、「ツー」など通話先の通信事業者に依存します）が聞こえます。
着信音	電話がかかってくると、着信音になります。このときに受話器をあげると通話できます。着信音は電話機に依存します。
通話中着信通知音 (割込通話サービス利用時のみ)	通話中に電話がかかってくると、受話器から「ツツ…ツツ…」と聞こえます。このときにフックボタンを押すと割込通話サービスとなります。割込通話サービスのご利用については、別途お申し込みが必要です。
ハウラ音	通話していない状態で受話器をあげたままにしておくと、「ツー」という連続音が大きくなりながら聞こえます。この音は受話器をあげたままの状態になっていることを通知する警告音です。受話器を置けば止まります。
準正常エラー音	相手先電話番号を押したときに「ツツ・ツツ・」という音が聞こえた場合、相手側やネットワークの一時的な不調が原因です。一度受話器を置いて、再度電話をかけてください。
異常エラー音	BBIQ 光電話無線ルータで電話がかけられない状態で受話器をあげると、高い音で「ピピ・ピピ・」または「ピー」という連続音が聞こえます。 この音が聞こえたときは、「BBIQ光電話に関するトラブル」(114 ページ) をご覧ください。

設定（BBIQ 光電話無線ルータ設定画面）

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面について

● BBIQ 光電話無線ルータ設定画面とは

本製品本体の設定は、「Internet Explorer」「Safari」といったブラウザソフトを利用して設定画面にアクセスすることで行えます。

本製品の設定画面を BBIQ 光電話無線ルータ設定画面と記載しています。

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面

トップページ > トップ > 現在の状態

現在の状態 ヘルプ ?

【機器状態情報】

■WPPS 状態	
接続状態	接続
WAN側IPアドレス	10.3.1.106
■リンク状態	
WAN	通信中(100Mbps 全二重)
LAN1	停止中
LAN2	停止中
LAN3	停止中
LAN4	通信中(100Mbps 全二重)
ハードウェア状態	正常

【無線LAN情報】

■アクセスポイント(2.4GHz)	
無線LAN状態	通信中
動作モード	IEEE802.11b/g/n 互換
使用チャンネル	11(自動設定)
拡張チャンネル	7(自動設定)
■アクセスポイント(5GHz)	
無線LAN状態	通信中
動作モード	IEEE802.11ac/n/a 互換
使用チャンネル	52(自動設定)
拡張チャンネル	56,60,64(自動設定)

【無線LAN情報(SSID-1)】

送信波帯	2.4GHz
------	--------

補足

- BBIQ 光電話無線ルータ設定画面で行える設定の詳細は、ヘルプをご覧ください。
- 使用している画面の表示は、ご利用のブラウザや OS によって異なります。

■ BBIQ 光電話無線ルータ設定画面での設定に対応したブラウザ

OS	対応しているブラウザ
Windows	Internet Explorer 11.0 / 10.0 / 9.0 / 8.0
Mac OS	Safari 3.04以上

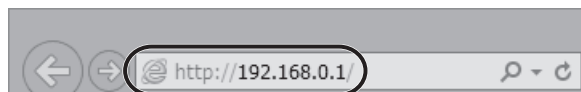
■ 本章でご案内している操作・設定方法について

章題	説明
BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開く	BBIQ光電話無線ルータ設定画面を表示させる方法についてご案内します。
BBIQ光電話無線ルータ設定画面を使う	BBIQ光電話無線ルータ設定画面の使い方についてご案内します。
パソコンを設定する	BBIQ光電話無線ルータ設定画面ご利用時のパソコンの設定方法をご案内します。

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を開く

画面はご利用の OS やブラウザ（Internet Explorer・Safari など）によって異なります。
※ここでは Windows 7 / Internet Explorer 11 の画面を掲載していますが、ほかの OS やブラウザでも同じ手順で設定できます。

- 1 ご利用のブラウザ（Internet Explorer・Safari など）を起動する
- 2 ブラウザのアドレス欄に「http://192.168.0.1/」と入力し、キーボードの「Enter」または「return」を押す

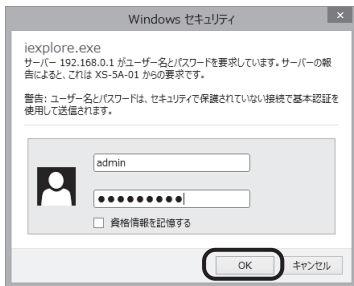


3 ログイン画面が表示されるので、各項目を入力する

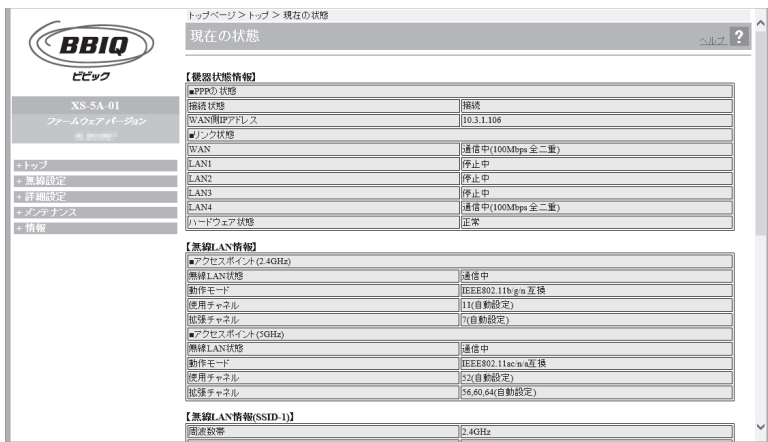
はじめて設定される場合は、ユーザー名「admin」、パスワード「XXXXXXXXXX」を入力します。



4 「OK (または「ログイン」)」をクリックする



以下の画面が表示されれば、BBIQ光電話無線ルータ設定画面の開き方は完了です。

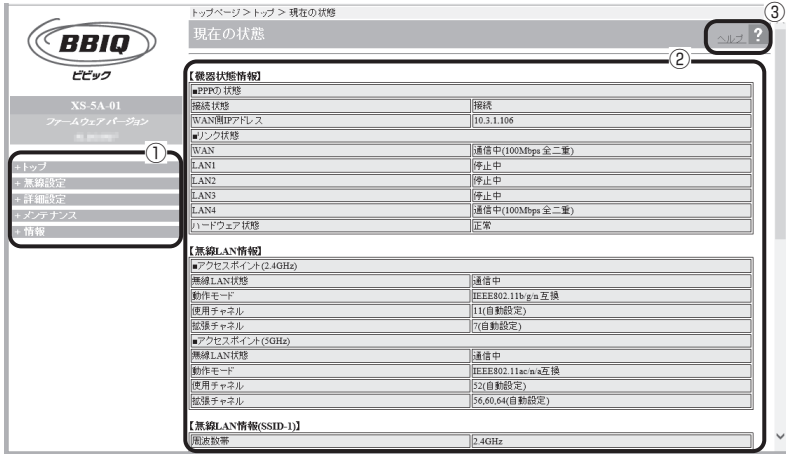


- 参照 ● 基本的な項目の設定方法は、「設定（BBIQ光電話無線ルータ本体）」（69 ページ）以降をご覧ください。
- BBIQ光電話無線ルータ設定画面が正常に表示されない場合は、「BBIQ光電話無線ルータ設定画面が開かない」（113 ページ）をご覧ください。

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を使う

■ BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を使う

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を開くと、以下のような画面が表示されます。



- ① 設定メニューです。「トップ」「無線設定」「詳細設定」「メンテナンス」「情報」のそれぞれのタイトル項目をクリックすると、詳細なメニューの表示 / 非表示を切り替えられます。
- ② 設定画面です。設定メニューで選択したタイトル項目の設定画面が表示されます。
- ③ 「ヘルプ」をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面では、各項目の内容や入力できる文字列の条件などが確認できます。

おしらせ

設定変更は、通信・通話の切断や再起動を伴うことがあります。
設定変更を行う場合は、通信や通話を終了してから行ってください。

■ 契約内容を確認する

本製品は、契約内容によって、ご利用いただける機能が異なります。

機能	機能の説明	確認方法
BBIQ光電話アダプタ機能	BBIQ光電話をご利用いただくための機能です。 ご利用には、BBIQ光電話サービスのお申し込みが必要です。	BBIQ光電話無線ルータ設定画面のトップ画面で「電話の状態」をクリックし、【電話番号1】または【電話番号2】の「サーバ登録状態」が登録済みであれば利用できます。
無線ルータ機能	本製品の無線LAN通信機能を有効にする機能です。 ご利用には、無線ルータ機能のお申し込みが必要です。	BBIQ 光電話無線ルータ設定画面のトップ画面の「現在の状態」の【無線LAN情報】に情報が表示されていれば利用できます。

パソコンを設定する

本製品を利用するためのパソコンの設定方法について説明します。

補足 ここで説明している設定は、「BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を開く」(33 ページ)で BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を表示することができなかった場合のみ必要です。

■ 無線ルータ機能をご利用の場合

本製品の「DHCPv4 サーバ機能^{*}」のチェックを外した場合は、IP アドレスを固定に設定する必要があります。

※初期の設定では、「DHCPv4 サーバ機能」にチェックがされています。

詳細は、「無線ルータ機能をご利用にならない場合」(56 ページ)をご覧ください。

Windows をご利用の場合

参照 ご利用のOSを確認し、該当のページに進んでください。

- Windows 8 / 8.1の場合、37 ページ
- Windows 7の場合、42 ページ
- Mac OSの場合、50 ページ

● パソコンのネットワークの設定 (Windows 8 / 8.1)

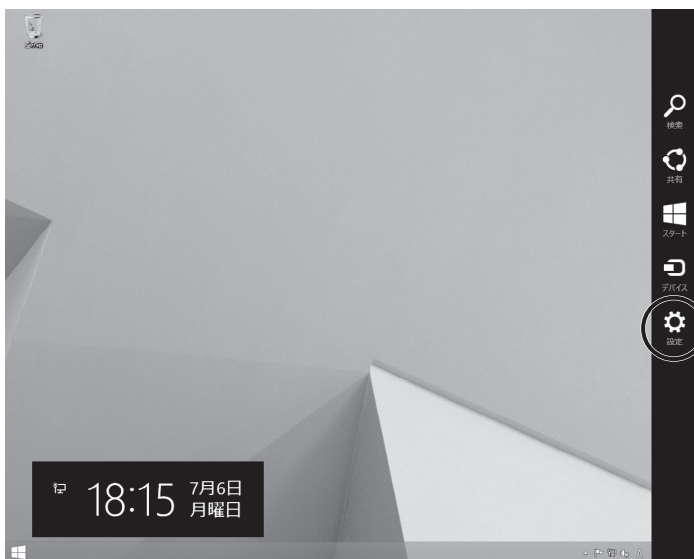
1 「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックする



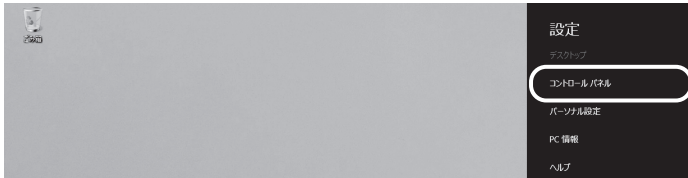
2 画面右上隅または右下の隅にマウスのカーソルを移動する



3 右側にメニューが表示されるので、「設定」をクリックする



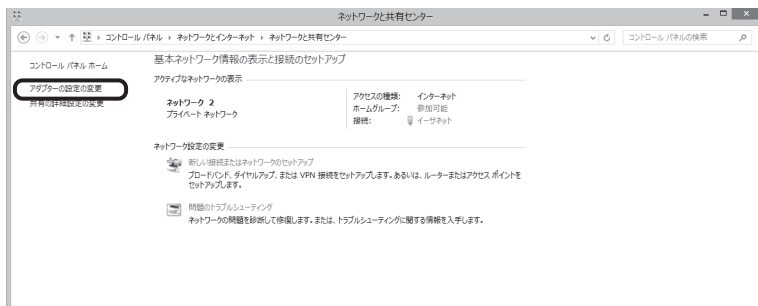
4 「コントロールパネル」をクリックする



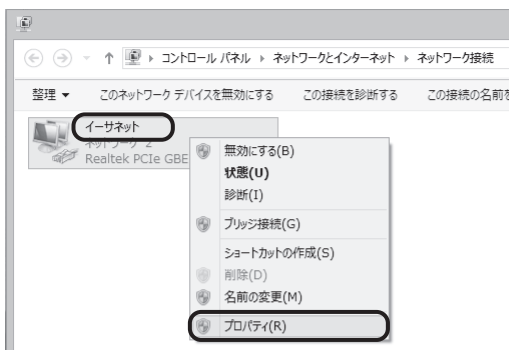
5 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



6 「アダプターの設定の変更」をクリックする



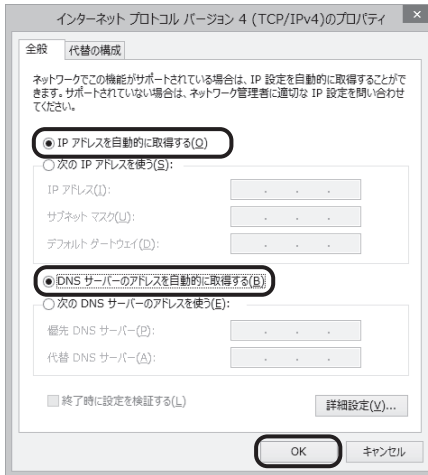
7 「イーサネット」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする



8 「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする



9 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックが入っていることを確認し、「OK」をクリックする



補足 本製品の「DHCPv4 サーバ機能」のチェックを外した場合は、IP アドレスを固定に設定する必要があります。
詳細は、「無線ルータ機能をご利用にならない場合」(56 ページ)をご覧ください。

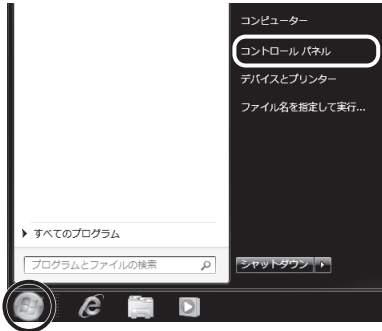
10 「閉じる」をクリックする



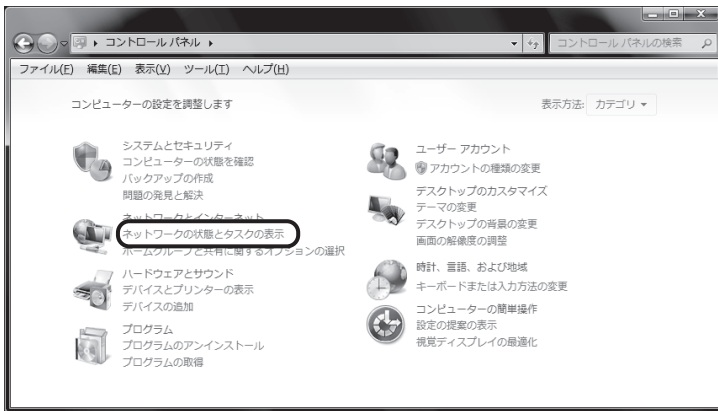
これでパソコンのネットワークの設定 (Windows 8 / 8.1) は完了です。
続けて、「● ブラウザの設定 (Windows)」(45 ページ) に進んでください。

● パソコンのネットワークの設定 (Windows 7)

1 「スタート () から「コントロールパネル」をクリックする



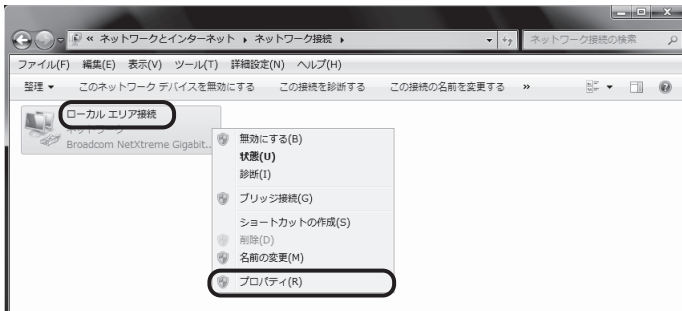
2 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



3 「アダプターの設定の変更」をクリックする

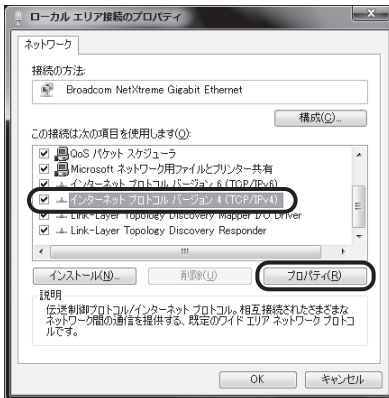


4 「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

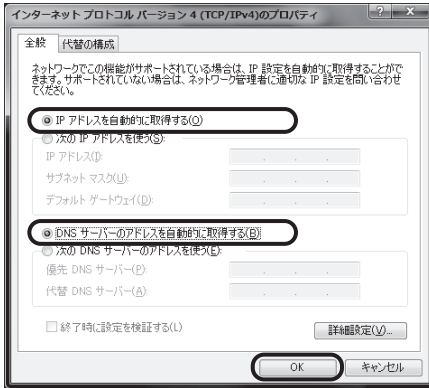


補足 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

5 「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする

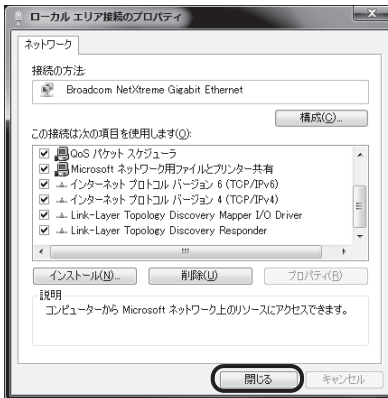


6 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックが入っていることを確認し、「OK」をクリックする



補足 本製品の「DHCPv4 サーバ機能」のチェックを外した場合は、IP アドレスを固定に設定する必要があります。
詳細は、「無線ルータ機能をご利用にならない場合」(56 ページ) をご覧ください。

7 「閉じる」をクリックする



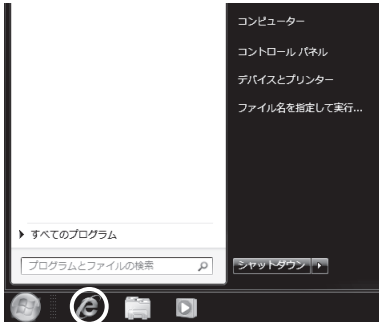
これでパソコンのネットワークの設定 (Windows 7) は完了です。
続けて、「● ブラウザの設定 (Windows)」(45 ページ) に進んでください。

● ブラウザの設定 (Windows)

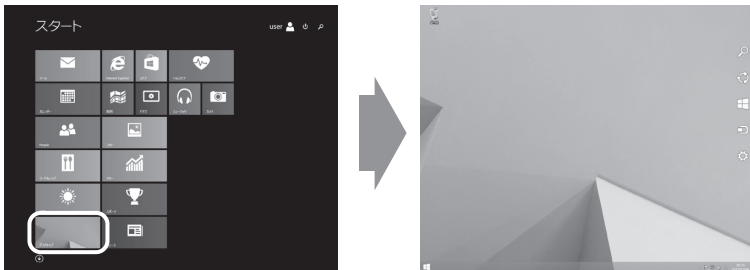
一例として「Internet Explorer 11」を利用した場合の画面で説明します。

 **参照** Mac OS をご利用の場合は、50 ページをご覧ください。

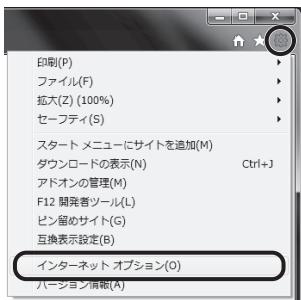
1 「Internet Explorer ()」をクリックする



補足 Windows 8 / 8.1 をご利用の場合は、設定をはじめめる前に、「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックして、画面を切り替えておいてください。

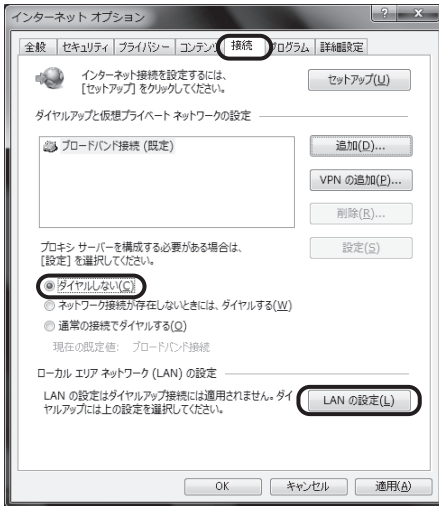


2 「ツール ()」から「インターネットオプション」をクリックする

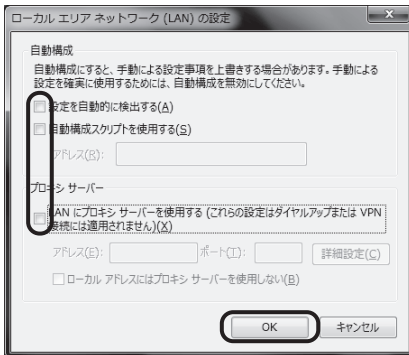


3 LANの設定をする

- 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」にチェックを入れ、「LANの設定」をクリックする。

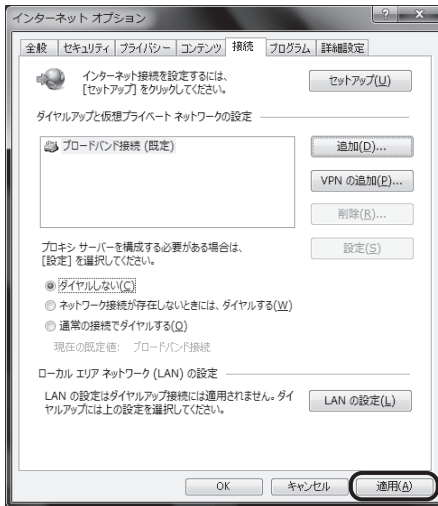


- すべての項目のチェックを外し、「OK」をクリックする。



「インターネットオプション」画面が再び表示されます。

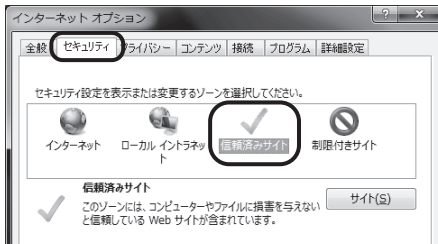
- 「適用」 をクリックする。



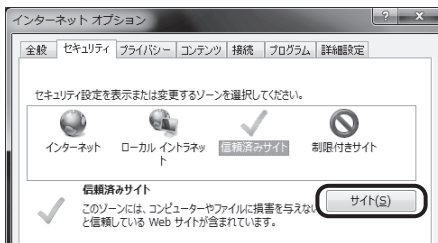
補足 「適用」のボタンがクリックできない状態の場合は、そのまま手順 4. に進んで問題ありません。

4 サイトの設定をする

- 「セキュリティ」 タブをクリックし、「信頼済みサイト」をクリックする。

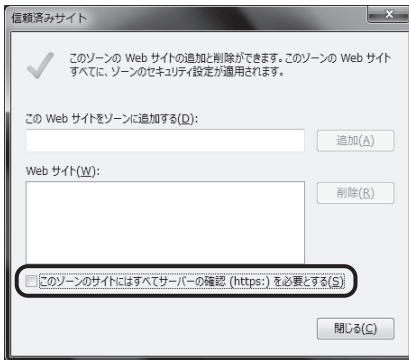


- 「サイト」 をクリックする。

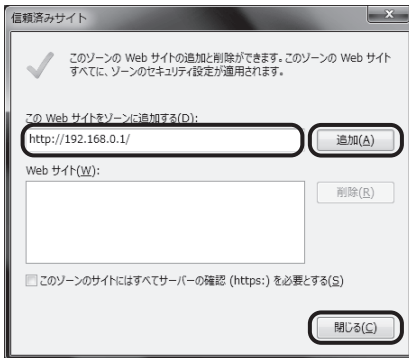


設定 (BBIQ 光電話無線ルータ設定画面) (つづき)

- 「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする」のチェックを外す。



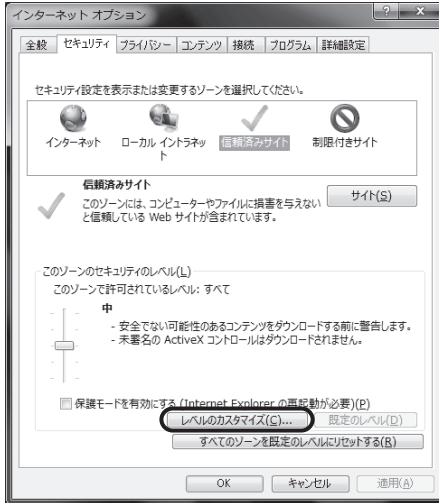
- 「この Web サイトをゾーンに追加する」に「http://192.168.0.1/」と入力し、「追加」をクリックする。



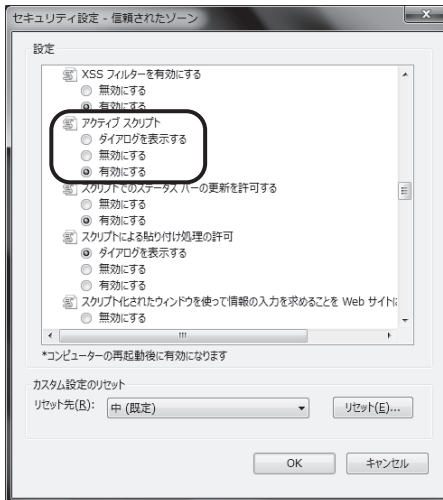
- 「閉じる」をクリックする。

5 レベルのカスタマイズを設定する

- 「レベルのカスタマイズ」をクリックする。

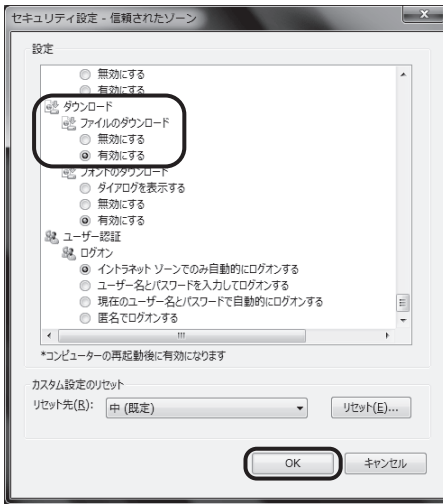


- 画面をスクロールし、「アクティブ スクリプト」の「有効にする」にチェックを入れる。



設定 (BBIQ 光電話無線ルータ設定画面) (つづき)

- 画面をスクロールし、「ファイルのダウンロード」の「有効にする」にチェックを入れる。




- 「OK」をクリックする。
これでブラウザの設定 (Windows) は完了です。

Mac OS をご利用の場合

● パソコンのネットワークの設定 (Mac OS)

Mac OS 10.9 を利用した場合の画面で説明しています。

参照 Windows をご利用の場合は、37 ページをご覧ください。

- 1 「アップルメニュー ()」から「システム環境設定」をクリックする



2 「ネットワーク」をクリックする



3 左のメニューからEthernetが接続しているインターフェース名をクリックする

接続されているインターフェースによって表示が異なる場合があります。



4 「IPv4の設定」のプルダウンメニューの表示を確認する

- 参照**
- 「DHCPサーバを使用」と表示されている場合は、「● ブラウザの設定 (Mac OS)」(55 ページ)に進んでください。
 - 「DHCPサーバを使用」以外の項目が表示されている場合は、手順 5.に進んでください。



- 補足** 本製品の「DHCPv4 サーバ機能」のチェックを外した場合は、IP アドレスを固定に設定する必要があります。
詳細は、「無線ルータ機能をご利用にならない場合」(56 ページ)をご覧ください。

5 ネットワーク環境を設定する

- 「ネットワーク環境」のプルダウンメニューから、「ネットワーク環境を編集」を選択する。



- 「+」をクリックし、「入力項目」に「QTNet」と入力する。

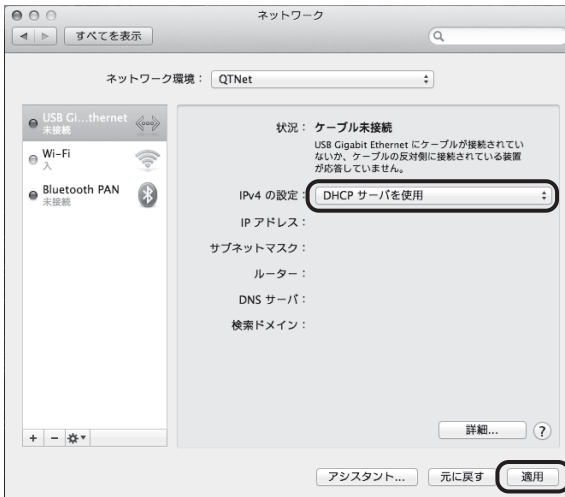


- 「完了」をクリックする。

- 6 「ネットワーク環境」のプルダウンメニューから「QTNNet」を選択し、左のメニューからEthernetが接続しているインターフェース名をクリックする



- 7 「IPv4の設定」のプルダウンメニューから「DHCPサーバを使用」を選択し、「適用」をクリックする



これでパソコンのネットワークの設定 (Mac OS) は完了です。
続けて「● ブラウザの設定 (Mac OS)」(55 ページ) に進んでください。

● ブラウザの設定 (Mac OS)

一例として「Safari」を利用した場合の画面で説明します。

 **参照** Windows をご利用の場合は、37 ページをご覧ください。

1 「Dock」から「Safari」をクリックする

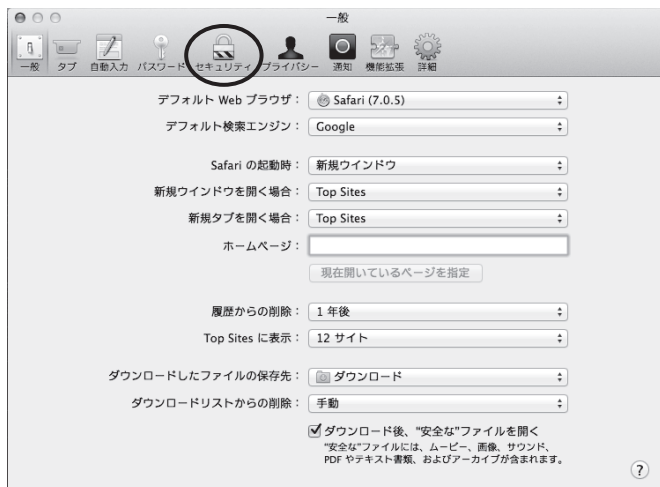


2 メニューバーの「Safari」から「環境設定」をクリックする



3 セキュリティの設定をする

- 「セキュリティ」をクリックする。



設定 (BBIQ 光電話無線ルータ設定画面) (つづき)

- 「JavaScript を有効にする」 にチェックを入れる。



これでブラウザの設定 (Mac OS) は完了です。

■ 無線ルータ機能をご利用にならない場合

Windows をご利用の場合

- ☞ **参照** ご利用のOSを確認し、該当のページに進んでください。
 - Windows 8 / 8.1の場合、56 ページ
 - Windows 7の場合、62 ページ
 - Mac OSの場合、64 ページ

● IP アドレスを固定に設定する方法 (Windows 8 / 8.1)

本製品の「DHCPv4 サーバ機能」のチェックを外した場合は、以下の方法で IP アドレスを固定に設定してください。

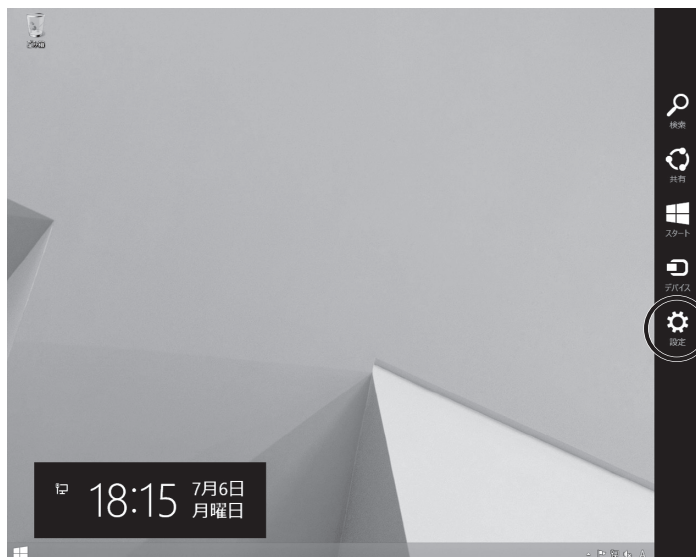
1 「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックする



2 画面右上隅または右下の隅にマウスのカーソルを移動する



3 右側にメニューが表示されるので、「設定」をクリックする



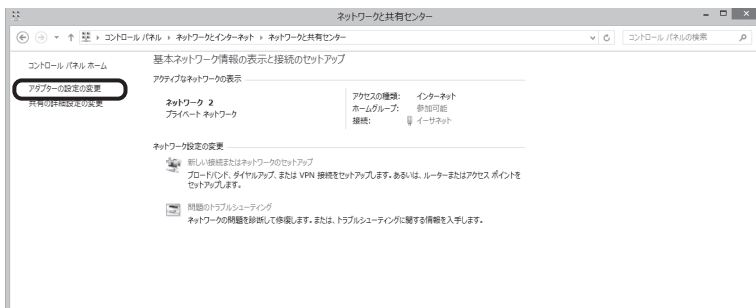
4 「コントロールパネル」をクリックする



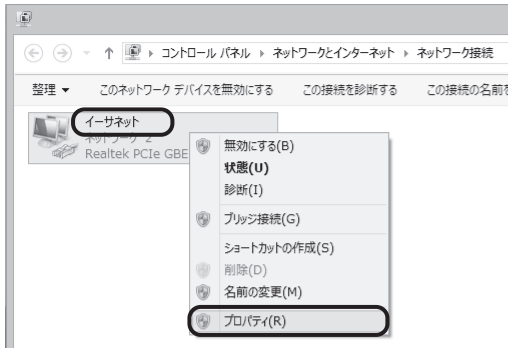
5 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



6 「アダプターの設定の変更」をクリックする



7 「イーサネット」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする



8 「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする



以降の手順はすべてのWindowsのバージョンで共通になります。

9 IPアドレスを入力する

- 「次の IP アドレスを使う」 にチェックを入れる。

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

以下の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): . . .

サブネット マスク(U): . . .

デフォルト ゲートウェイ(D): . . .

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(E)

次の DNS サーバーを使う(E):

優先 DNS サーバー(E): . . .

代替 DNS サーバー(A): . . .

終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

- 各項目を入力する。

※ここで説明している設定は、本製品の「詳細設定」をお届け時の状態から変更されていない場合です。変更されている場合は、変更した設定に合った値を入力してください。

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

以下の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 0 . 2

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): 192 . 168 . 0 . 1

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(E)

次の DNS サーバーを使う(E):

優先 DNS サーバー(E): 192 . 168 . 0 . 1

代替 DNS サーバー(A): . . .

終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

- 「IPアドレス」
192.168.0.XXX
※ XXXには2~254の任意の値を入力してください。
複数の端末（パソコン・スマートフォンなど）を接続される場合は、すべて異なる値を入力する必要があります。
- 「サブネットマスク」
255.255.255.0
- 「デフォルトゲートウェイ」
192.168.0.1
- 「優先DNSサーバー」
192.168.0.1

- 「OK」 をクリックする。



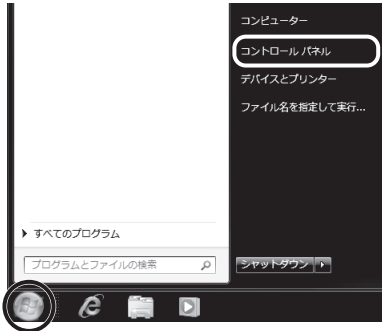
10 「閉じる」 をクリックする



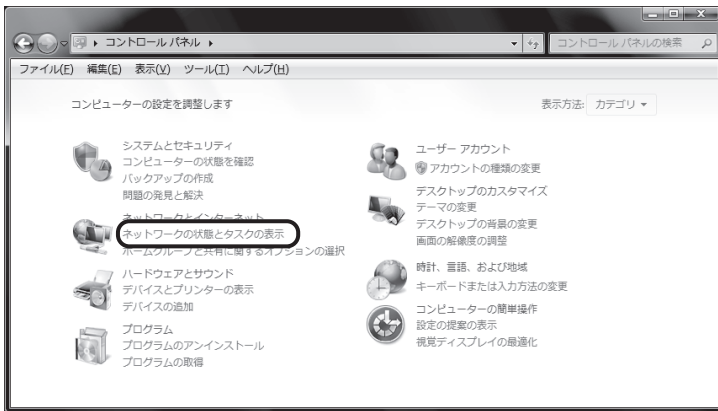
これでIPアドレスを固定に設定する方法（Windows 8 / 8.1）は完了です。
BBIQ光電話無線ルータ設定画面に正常にログインできることを確認してください。

● IP アドレスを固定に設定する方法 (Windows 7)

1 「スタート () から「コントロールパネル」をクリックする



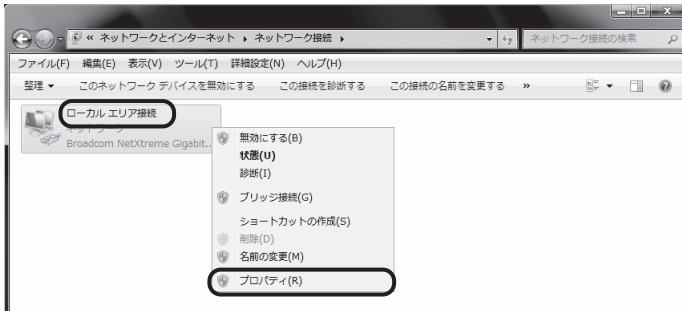
2 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



3 「アダプターの設定の変更」をクリックする

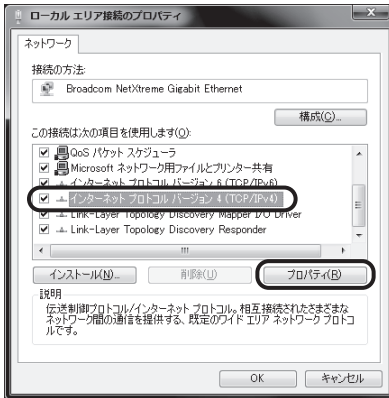


4 「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする



補足 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

5 「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする



参照 続けて60 ページの手順9に進んでください。

Mac OS をご利用の場合

● IP アドレスを固定に設定する方法 (Mac OS)

Mac OS 10.9 を利用した場合の画面で説明しています。

- 参照** ご利用のOSを確認し、該当のページに進んでください。
- Windowsの場合、56 ページ

1 「アップルメニュー ()」から「システム環境設定」をクリックする



2 ネットワーク環境の設定をする

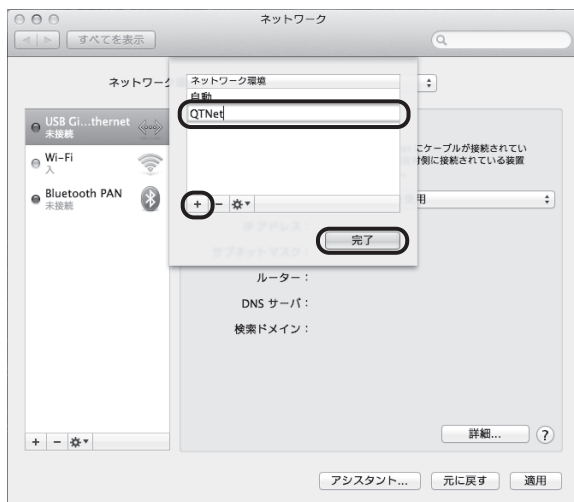
- 「ネットワーク」をクリックする。



- 「ネットワーク環境」のプルダウンメニューから、「ネットワーク環境を編集」を選択する。



- 「+」をクリックし、「入力項目」に任意の名前を入力する。



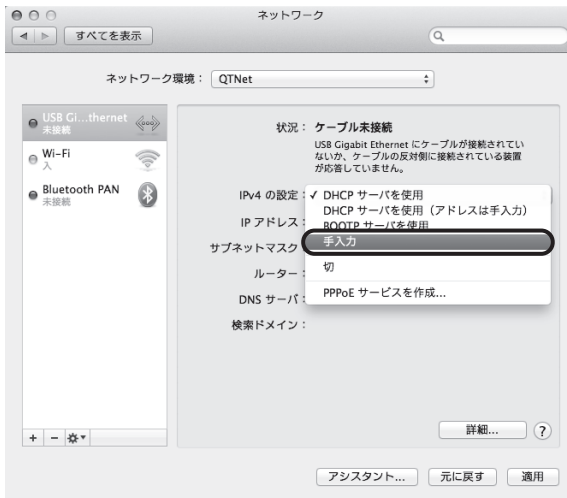
- 「完了」をクリックする。

- 3 「ネットワーク環境」のプルダウンメニューから手順2.で入力した任意の名前を選択し、左のメニューからEthernetが接続しているインターフェイス名をクリックする



- 4 IPアドレスを入力する

- 「IPv4 の設定」のプルダウンメニューから、「手入力」を選択する。



- 各項目を入力し、「詳細」をクリックする。

※ここで説明している設定は、本製品の「詳細設定」をお届け時の状態から変更されていない場合です。変更されている場合は、変更した設定に合った値を入力してください。



● 「IPアドレス」

192.168.0.XXX

※ XXXIには2~254の任意の値を入力してください。複数の端末（パソコン・スマートフォンなど）を接続される場合は、すべて異なる値を入力する必要があります。

● 「サブネットマスク」

255.255.255.0

● 「ルーター」

192.168.0.1

- 「DNS」を選択し、DNS サーバの「+」をクリックする。

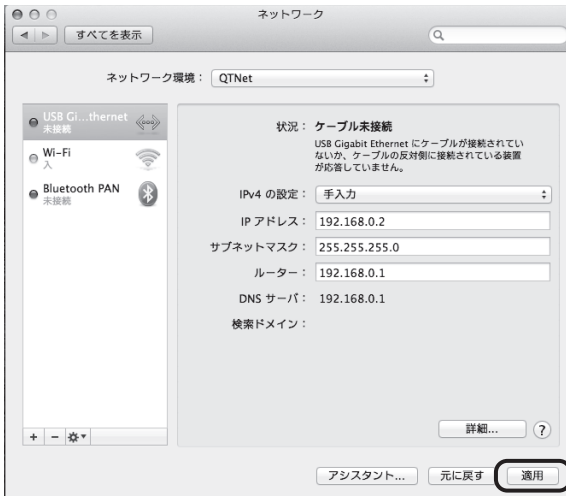


設定 (BBIQ 光電話無線ルータ設定画面) (つづき)

- 入力欄に「192.168.0.1」と入力し、「OK」をクリックする。



5 「適用」をクリックする



これで「IPアドレスを固定に設定する方法 (Mac OS)」は完了です。
BBIQ光電話無線ルータ設定画面に正常にログインできることを確認してください。

設定（BBIQ 光電話無線ルータ本体）

本体の設定について説明します。

本体設定のご案内

章題	説明
機器設定用パスワードを変更する	本製品に設定した機器設定用パスワードを変更します。
再起動する	本製品の再起動を行います。
初期化する	本製品をお届け時の状態に戻します。 本製品に設定した情報はすべて削除されます。
設定を保存・復元する	本製品に設定した情報をパソコンへ保存します。 保存したファイルから設定を復元することもできます。

機器設定用パスワードを変更する

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面へログインする機器設定用パスワードの変更方法を説明します。

- ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左のメニューから「メンテナンス」をクリックする

トップページ > トップ > 現在の状態

現在の状態

【機器状態情報】

■PPPの状態	
接続状態	接続
WAN側IPアドレス	10.3.1.106
■リンク状態	
WAN	通信中(100Mbps 全二重)
LAN1	停止中
LAN2	停止中
LAN3	停止中
LAN4	通信中(100Mbps 全二重)
ハードウェア状態	正常

【無線LAN情報】

■アクセスポイント(2.4GHz)

無線LAN状態	通信中
動作モード	IEEE802.11b/g/n互換
使用チャンネル	11(自動設定)
伝送チャンネル	7(自動設定)

■アクセスポイント(5GHz)

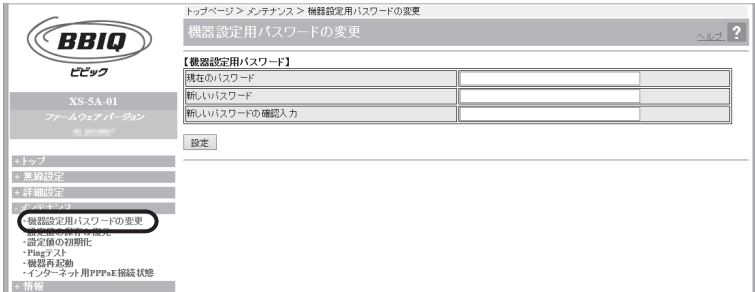
無線LAN状態	通信中
動作モード	IEEE802.11ac/n/a互換
使用チャンネル	52(自動設定)
伝送チャンネル	56,60,64(自動設定)

【無線LAN情報(SSID-1)】

運用周波数	2.4GHz
-------	--------

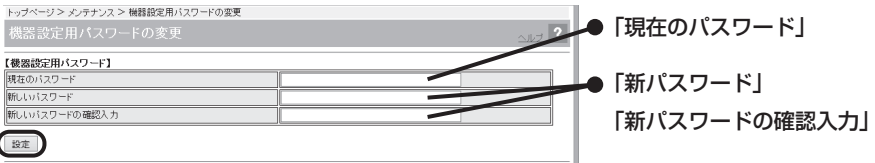
- ☞ 参照 BBIQ光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開く」(33 ページ)をご覧ください。

2 左のメニューから「機器設定用パスワードの変更」をクリックする



3 各項目を入力し、「設定」をクリックする

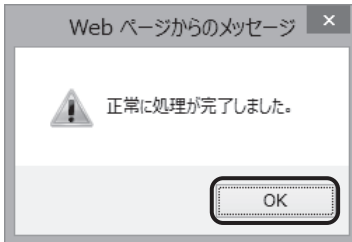
機器設定用パスワードに設定できる文字数は最大32文字です。
パスワードには1文字以上32文字以下の半角英数文字を使用することができます。
(¥ ' " ? & % = : ; @ / を除く)
なお、大文字と小文字は区別されます。
空白にすることはできません。またスペースのみを設定することもできません。



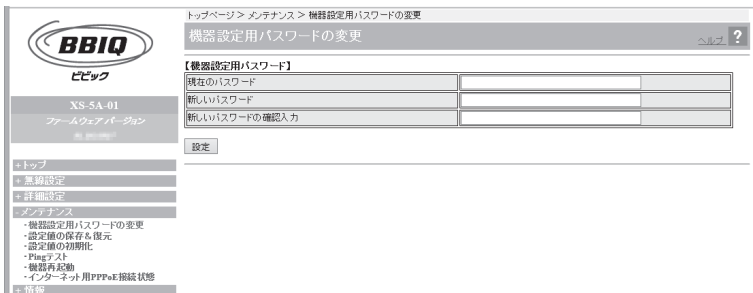
おしらせ

- 入力したパスワードは、本製品の設定に必要となりますので、忘れないようにお控えください。パスワードを忘れた場合は、装置の初期化が必要になります。

4 「正常に処理が完了しました」と表示されたら、「OK」をクリックする



「機器設定用パスワードの変更」が再度表示されます。



再起動する

本製品を再起動する方法を説明します。

- ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左のメニューから「メンテナンス」をクリックする

トップページ>トップ>現在の状態

現在の状態

【機器状態情報】

■PPPoE状態	
接続状態	接続
WAN側IPアドレス	10.3.1.106
■リンク状態	
WAN	通信中(100Mbps 全二重)
LAN1	停止中
LAN2	停止中
LAN3	停止中
LAN4	通信中(100Mbps 全二重)
ハードウェア状態	正常

【無線LAN情報】

■2.4GHz	
無線LAN状態	通信中
動作モード	IEEE802.11b/g/n 互換
使用チャネル	11(自動設定)
伝送チャネル	7(自動設定)
■5GHz	
無線LAN状態	通信中
動作モード	IEEE802.11ac/n/a互換
使用チャネル	52(自動設定)
伝送チャネル	56,60,64(自動設定)

【無線LAN情報(SSID-1)】

伝送数値	2.4GHz
------	--------

- ☞ 参照 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開く」(33 ページ) をご覧ください。

- 左のメニューから「機器再起動」をクリックする

トップページ>メンテナンス>機器再起動

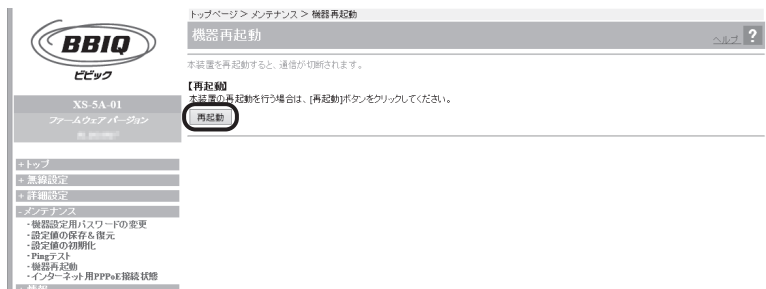
機器再起動

本装置を再起動すると、通信が切断されます。

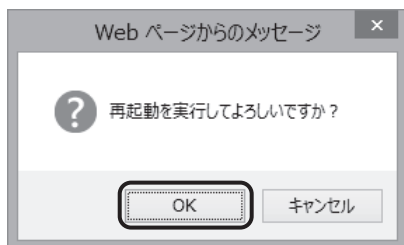
【再起動】
本装置の再起動を行う場合は、[再起動]ボタンをクリックしてください。

左メニュー: 機器再起動

3 「再起動」をクリックする



4 内容を確認の上、「OK」をクリックする



以下のメッセージが表示され、再起動が行われます。そのままお待ちください。



以下の画面が表示されれば、再起動は完了です。「再表示」をクリックします。

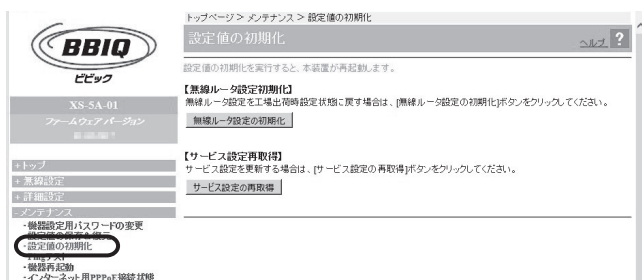


1 ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左のメニューから「メンテナンス」をクリックする

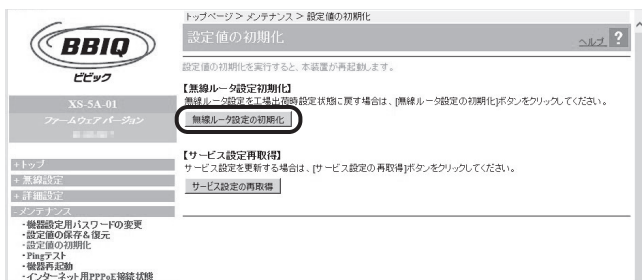


参照 BBIQ光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開く」(33 ページ)をご覧ください。

2 左のメニューから「設定値の初期化」をクリックする

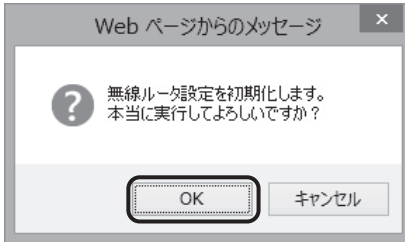


3 「無線ルータ設定の初期化」をクリックする



参照 「サービス設定の再取得」についてはヘルプをご覧ください。

4 内容を確認の上、「OK」をクリックする



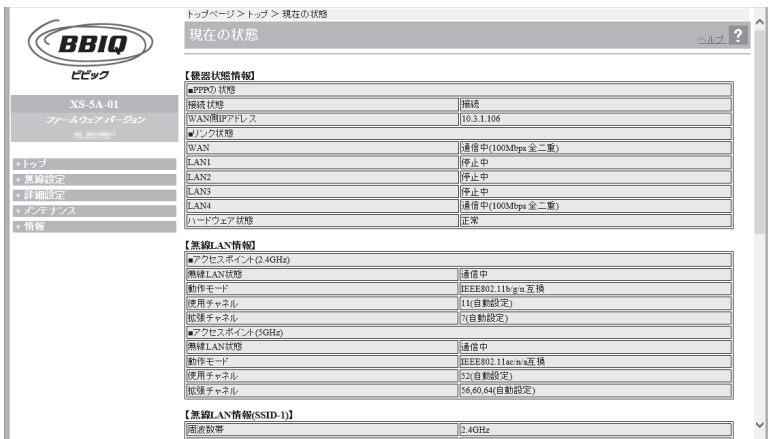
以下のメッセージが表示され、再起動が行われます。そのままお待ちください。



以下の画面が表示されれば、再起動は完了です。「再表示」をクリックします。



BBIQ光電話無線ルータ設定画面のトップが表示されます。



設定を保存・復元する

本体の設定を保存・復元する方法について説明します。

本製品の初期化を行う前に設定情報を保存しておけば、あとから設定を復元することができます。

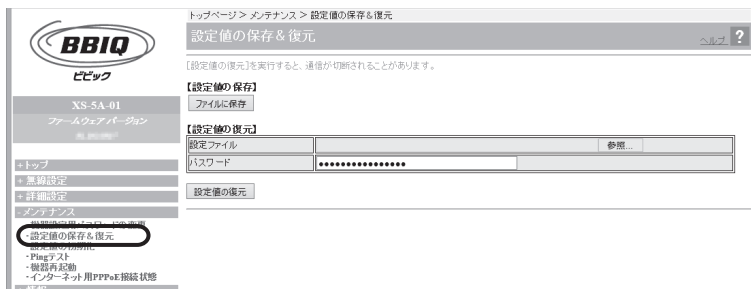
設定を保存する方法

- 1 ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左のメニューから「メンテナンス」をクリックする



- ☛ 参照 BBIQ光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開く」(33 ページ) をご覧ください。

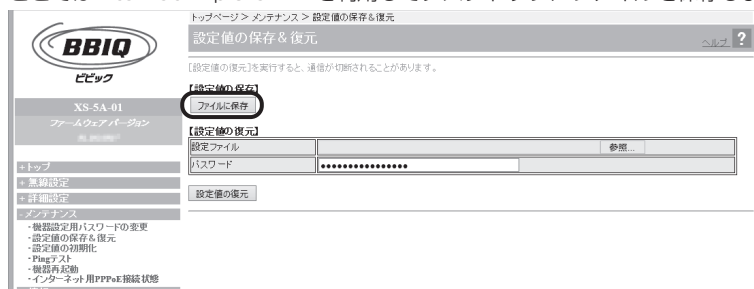
- 2 左のメニューから「設定値の保存&復元」をクリックする



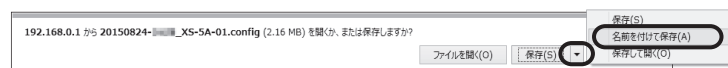
3 「ファイルに保存」をクリックする

設定ファイルを任意の場所へ保存してください。

ここではInternet Explorer 11を利用してデスクトップにファイルを保存します。



4 「保存」の「▼」をクリックし、「名前を付けて保存」をクリックする



5 「デスクトップ」を選択し、「保存」をクリックする



6 デスクトップに設定ファイルが保存されたことを確認する これで設定を保存する方法は完了です。

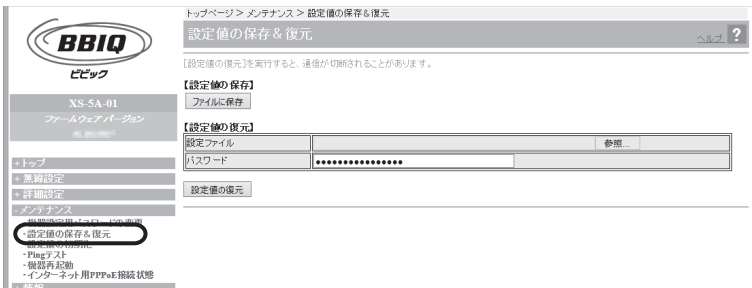
設定を復元する方法

- 1 ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左のメニューから「メンテナンス」をクリックする



- ☛ 参照 BBIQ光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開く」(33 ページ)をご覧ください。

- 2 左のメニューから「設定値の保存&復元」をクリックする




インターネット

パソコンを有線接続する場合

お手持ちのパソコンを本製品の背面にある LAN1 ポートから LAN4 ポートのどれかに接続するだけでインターネットを利用できます。

- 1 本製品前面の光ネットランプが緑点灯していることを確認する
- 2 本製品背面のLANポート（LAN1ポートからLAN4ポートのどれか）と、パソコンをLANケーブルで接続する
- 3 接続したLANポートのリンクランプが緑点灯していることを確認する
- 4 ブラウザを起動する
インターネット上のホームページが開けたら完了です。

 **参照** パソコンのネットワーク設定によってはインターネットに接続できない場合があります。詳細は「インターネットに接続できない」（111 ページ）をご覧ください。

パソコンを無線接続する場合

お手持ちのパソコンを無線で接続する方法を説明します。

■ 自動で無線接続する（WPS）

本製品は、パソコンやゲーム機を安全でかんたんに無線接続できる WPS 機能があります。


● 「WPS」とは？

WPS とは、無線 LAN の設定をかんたんに行うことができる機能です。

WPS には、以下の方法があります。

- 本製品背面の「WPS」ボタンを押して設定する方法
- 「PIN コード」を入力する方法

ここでは、「WPS」ボタンを押して設定する方法を説明します。

 **参照** 「PIN コード」を利用した設定方法は、BBIQ 無線設定の「無線 LAN 簡単設定」のヘルプをご覧ください。

補足

- 設定の際、本製品と設定する無線 LAN 端末 (パソコン・スマートフォンなど) は近くに置いた状態で設定してください (目安 1m 程度)。
- WPS で設定を行うには、接続する無線 LAN 子機も WPS に対応している必要があります。無線 LAN 子機が無線設定 WPS (プッシュボタン方式) をサポートしていない場合は、無線 LAN セキュリティ情報をパソコンに手入力する方法が利用できます。本製品の側面に貼付された装置情報ラベルに記載している、無線 LAN セキュリティ情報 (SSID と暗号化キー) を設定してください。詳細な操作方法については、無線 LAN 子機の取扱説明書などを参照してください。
- 本製品で「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)」を「する」に設定すると、WPS での無線設定に失敗します。WPS での設定時は、「する」のチェックをはずしてください。
- WPS で無線 LAN の設定を行っている間は、通信・通話の切断や再起動を伴うことがあります。
設定変更を行う場合は、通信や通話を終了してから行ってください。
- 本製品で「MAC アドレスフィルタリング」を有効にしている場合、接続する端末の無線 LAN 子機の「MAC アドレス」が登録されていないと、子機によっては WPS での無線設定ができない場合があります。

パソコンに内蔵の無線 LAN 子機を利用した場合の、「WPS」ボタンを押して設定する方法を説明します。

- 参照** ご利用の OS を確認し、該当のページに進んでください。
- Windows 8 / 8.1 の場合、84 ページ
 - Windows 7 の場合、88 ページ

● Windows 8 / 8.1 の場合

1 「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックする



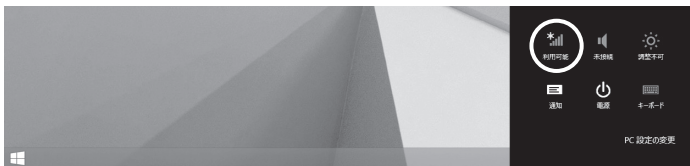
2 画面右上隅または右下の隅にマウスのカーソルを移動する



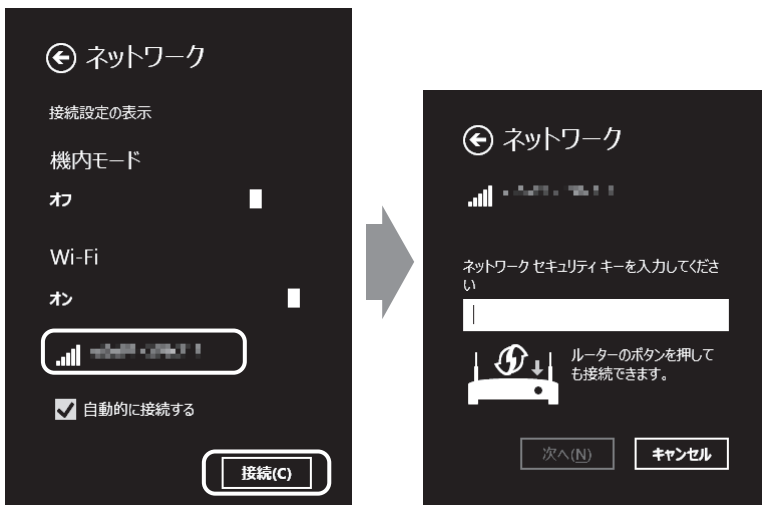
3 右側にメニューが表示されるので、「設定」をクリックする



4 「利用可能」をクリックする



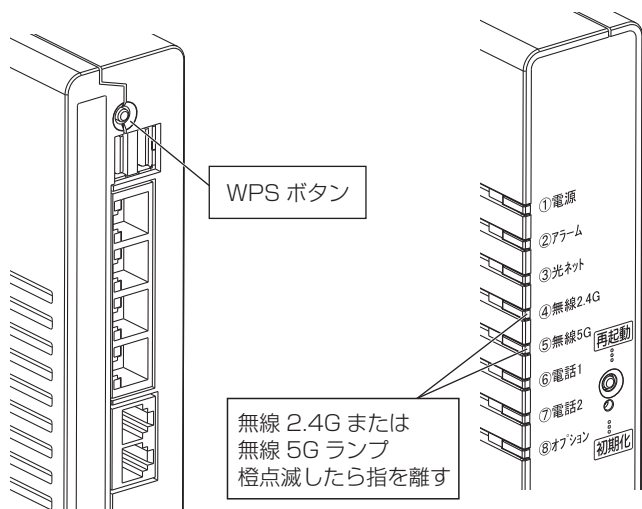
5 一覧から本製品のネットワーク名(SSID)をクリックし、「接続」をクリックする



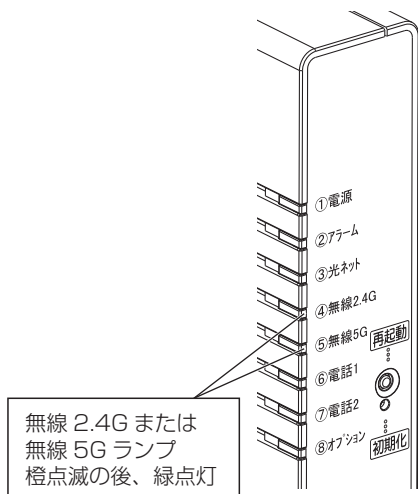
補足

- お届け時のネットワーク名（SSID）は、本製品の側面に貼付された装置情報ラベルで確認できます。
- 本書巻末の SSID メモ欄に SSID をメモしておいてください。

6 本製品背面の「WPS」ボタンを押し続け、無線ランプが橙点滅したら指を離す



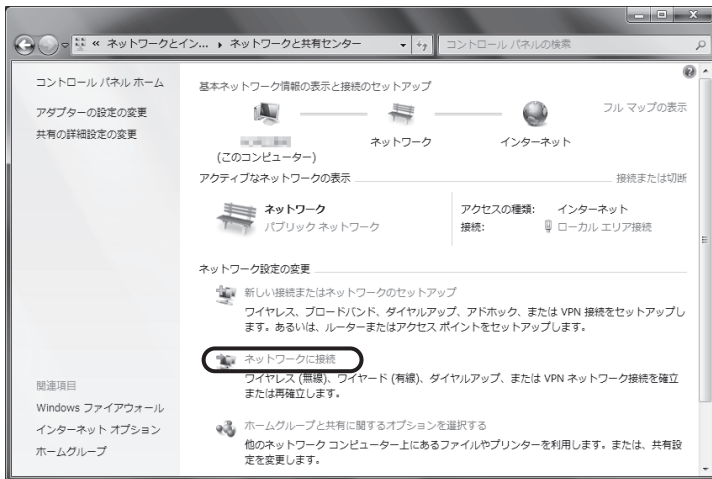
7 本製品の無線ランプが緑点灯になったことを確認する



2 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



3 「ネットワークに接続」をクリックする

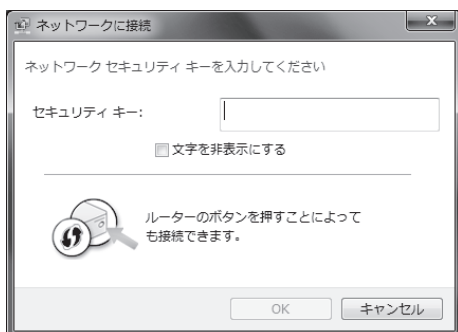


4 一覧から本製品のネットワーク名（SSID）を選択し、「接続」をクリックする

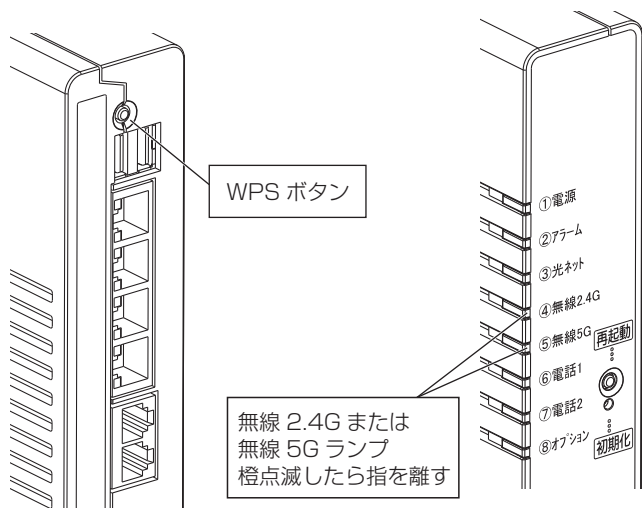


- 補足** ● お届け時のネットワーク名（SSID）は、本製品の側面に貼付された装置情報ラベルで確認できます。

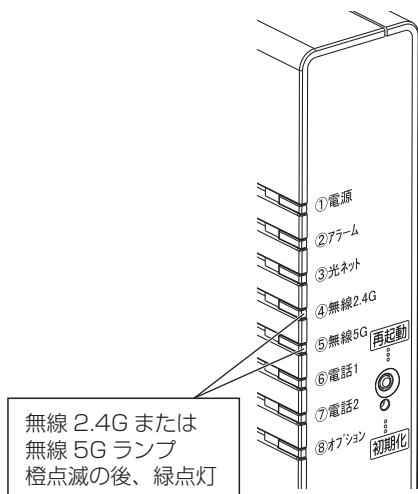
5 「ネットワークに接続」の画面が表示されることを確認する



6 本製品背面の「WPS」ボタンを押し続け、無線ランプが橙点滅したら指を離す



7 本製品の無線ランプが緑点灯になったことを確認する



これでパソコンを無線接続する場合の操作は完了です。

おしらせ

- 無線接続に失敗した場合は、無線ランプが赤点滅します。手順 1. からやり直しても失敗する場合は、子機の取扱説明書などを参照して、本製品のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーを設定してください。

■ 手動で無線接続する

「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）」を利用して、本製品のネットワーク名（SSID）を隠している場合は、ここで説明している方法で設定を行ってください。

Windows をご利用の場合

参照 ご利用のOSを確認し、該当のページに進んでください。

- Windows 8 / 8.1の場合、92 ページ
- Windows 7の場合、98 ページ
- MacOSの場合、103 ページ

● 無線 LAN 設定方法（Windows 8 / 8.1）

1 「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックする



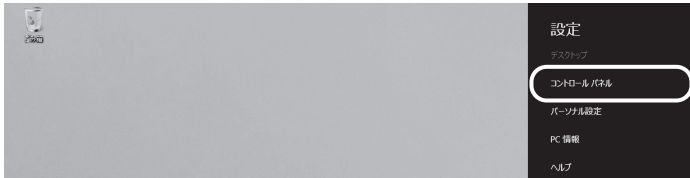
2 画面右上隅または右下の隅にマウスのカーソルを移動する



3 右側にメニューが表示されるので、「設定」をクリックする



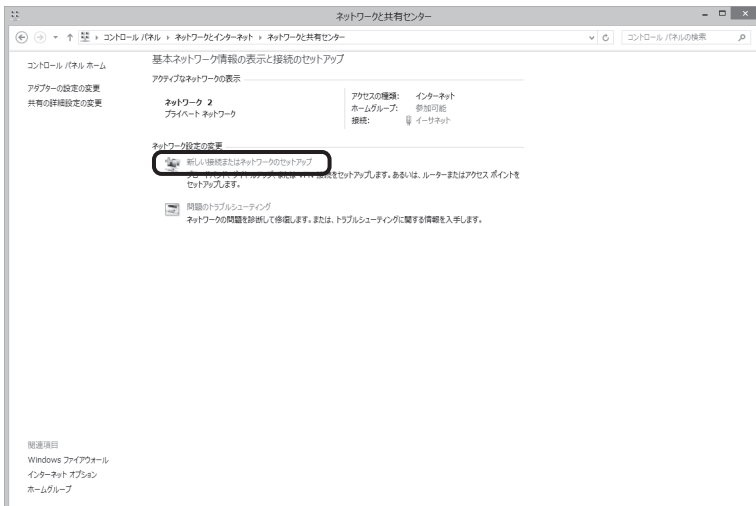
4 「コントロールパネル」をクリックする



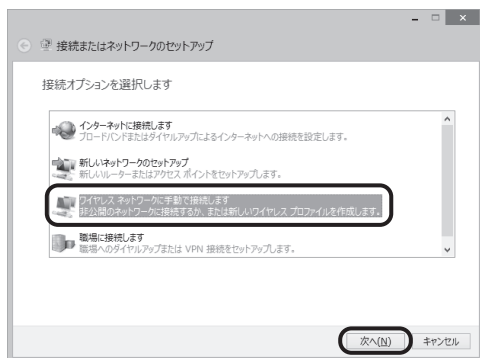
5 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



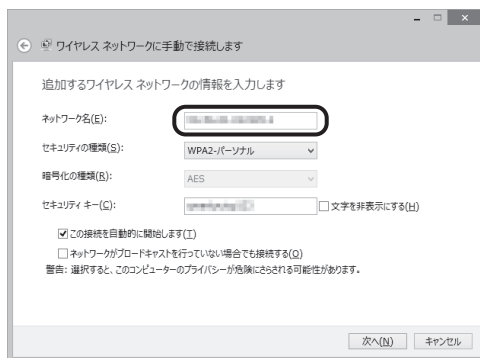
6 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする



7 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

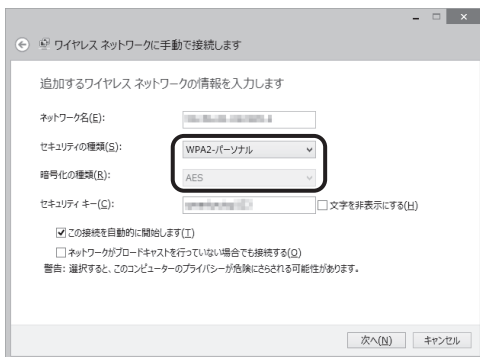


8 「ネットワーク名」に本製品のネットワーク名 (SSID) を入力する



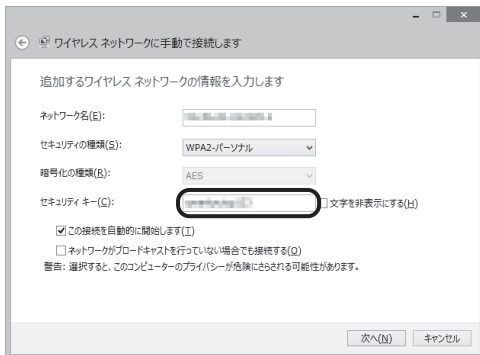
補足 お届け時のネットワーク名 (SSID) は、本製品の側面に貼付された装置情報ラベルで確認できます。

9 「セキュリティの種類」および「暗号化の種類」のプルダウンメニューから、本製品に設定されたセキュリティの種類を選択する



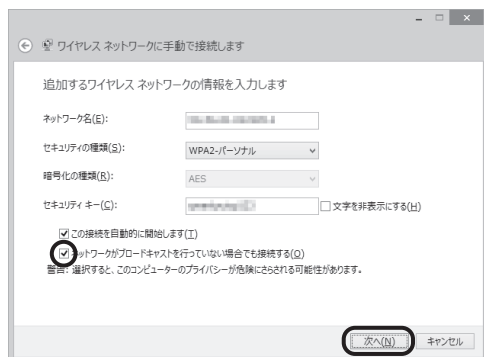
補足 お届け時は以下のように設定されています。
セキュリティの種類 → 「WPA2- パーソナル」
暗号化の種類 → 「AES」

10 「セキュリティ キー」に本製品の暗号化キーを入力する



補足 お届け時の暗号化キーは、本製品の側面に貼付された装置情報ラベルで確認できます。

- 11 「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY接続拒否)」を利用して
いる場合は、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」に
チェックを入れ、「次へ」をクリックする



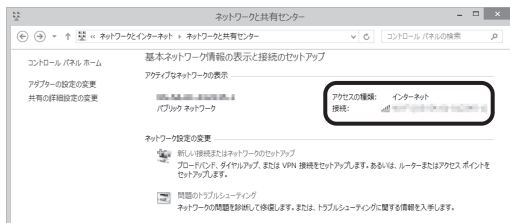
補足 「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れておくと、自動的に
接続が行われます。

- 12 「正常に "○○○ (入力したネットワーク名)" を追加しました」
と表示されたことを確認し、「閉じる」をクリックする



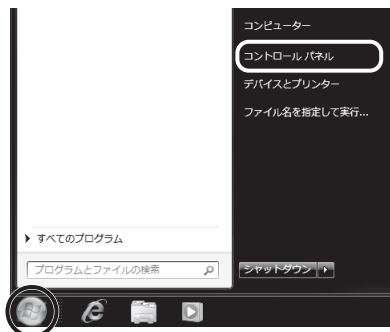
インターネット（つづき）

「アクティブなネットワークの表示」で、入力したネットワーク名に「接続」と表示されていれば、設定は完了です。



● 無線 LAN 設定方法 (Windows 7)

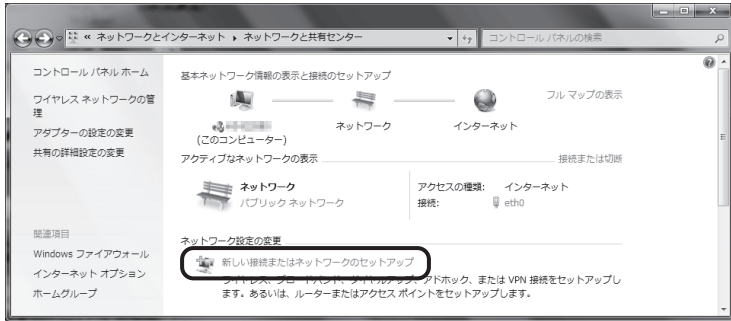
1 「スタート () から「コントロールパネル」をクリックする



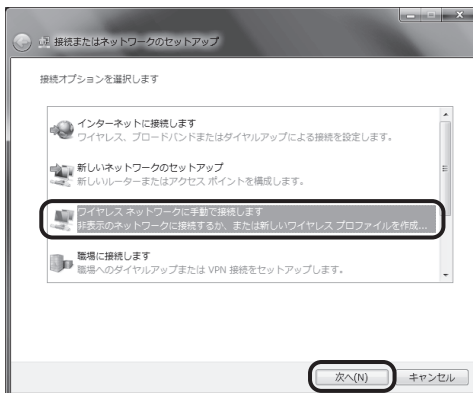
2 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



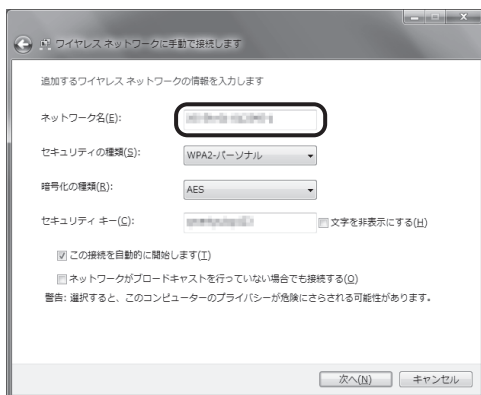
3 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする



4 「ワイヤレス ネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

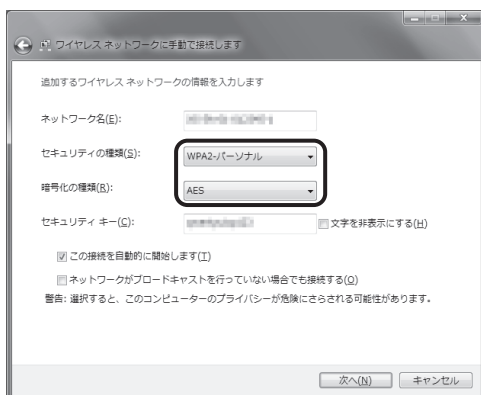


5 「ネットワーク名」に本製品のネットワーク名 (SSID) を入力する



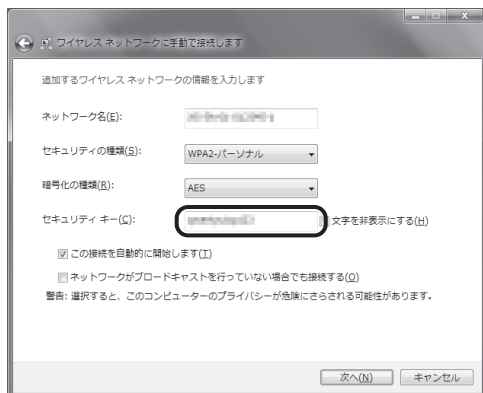
補足 お届け時のネットワーク名 (SSID) は、本製品の側面に貼付された装置情報ラベルで確認できます。

6 「セキュリティの種類」および「暗号化の種類」のプルダウンメニューから、本製品に設定されたセキュリティの種類を選択する



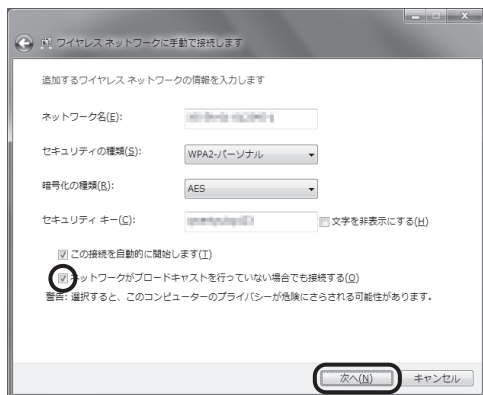
補足 お届け時は以下のように設定されています。
セキュリティの種類 → 「WPA2- パーソナル」
暗号化の種類 → 「AES」

7 「セキュリティ キー」に本製品の暗号化キーを入力する



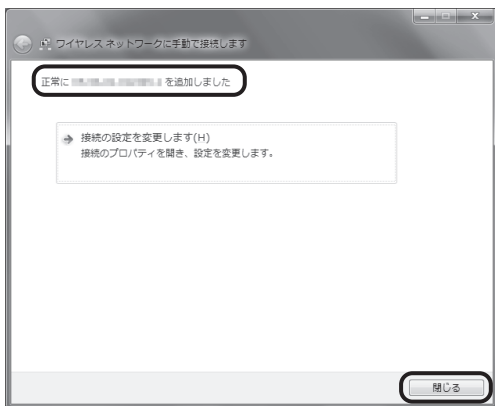
補足 お届け時の暗号化キーは、本製品の側面に貼付された装置情報ラベルで確認できます。

8 「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY接続拒否)」を利用している場合は、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックする

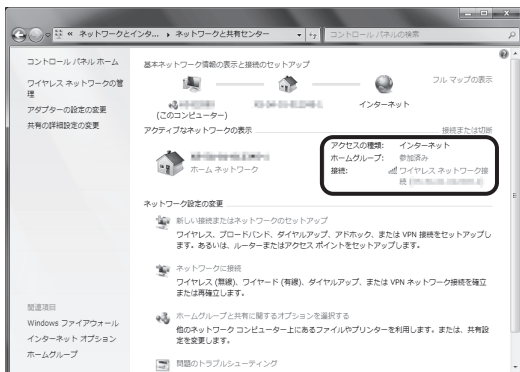


補足 「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れておくと、自動的に接続が行われます。

9 「正常に "○○○ (入力したネットワーク名)" を追加しました」と表示されたことを確認し、「閉じる」をクリックする




「ワイヤレスネットワーク接続 (入力したネットワーク名)」に「接続」と表示されていれば、設定は完了です。



Mac OS をご利用の場合

● 無線 LAN 設定方法 (Mac OS)

Mac OS 10.9 を利用した場合の画面で説明しています。

-  **参照** ご利用のOSを確認し、該当のページに進んでください。
- Windowsの場合、92 ページ

1 「アップルメニュー ()」から「システム環境設定」をクリックする



2 「ネットワーク」をクリックする



3 左のメニューから「Wi-Fi」をクリックする

「状況」が「入」と表示されていることを確認してください。
「状況」が「切」と表示されている場合は、「Wi-Fi を入にする」をクリックします。



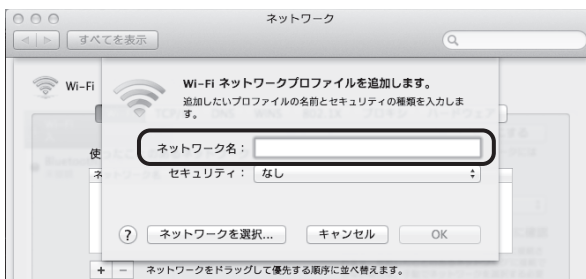
4 「詳細」をクリックする



5 「+」をクリックする



6 「ネットワーク名」に本製品のネットワーク名 (SSID) を入力する



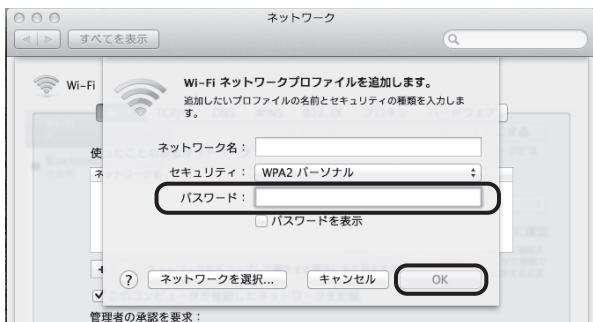
補足 お届け時のネットワーク名 (SSID) は、本製品の側面に貼付された装置情報ラベルで確認できます。

7 「セキュリティ」のプルダウンメニューから、本製品に設定されたセキュリティの種類を選択する



補足 お届け時は「WPA2 パーソナル」が設定されています。

8 「パスワード」に本製品の暗号化キーを入力し、「OK」をクリックする



補足 お届け時の暗号化キーは、本製品の側面に貼付された装置情報ラベルでご確認できます。

9 「OK」をクリックする

- 「使ったことのあるネットワーク」に入力した「ネットワーク名 (SSID)」が表示されていることを確認する。



10 「適用」をクリックする

「状況」に「接続済み」と表示されていれば、設定は完了です。



症 状	原因と対策
<p>光ネットランプが赤色に点灯 または橙色に点滅する</p> <div data-bbox="165 296 344 496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> ① 電源 <input type="checkbox"/> ② アラーム <input checked="" type="checkbox"/> ③ 光ネット <input type="checkbox"/> ④ 無線2.4G <input type="checkbox"/> ⑤ 無線5G <input type="checkbox"/> ⑥ 電話1 <input type="checkbox"/> ⑦ 電話2 <input type="checkbox"/> ⑧ オプション </div>	<p>光ネットへの接続に失敗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 配線が間違っていないか確認してください。 ● 一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。
<p>無線2.4G・無線5Gのランプ が消灯している</p> <div data-bbox="165 580 344 780" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> ① 電源 <input type="checkbox"/> ② アラーム <input type="checkbox"/> ③ 光ネット <input checked="" type="checkbox"/> ④ 無線2.4G <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 無線5G <input type="checkbox"/> ⑥ 電話1 <input type="checkbox"/> ⑦ 電話2 <input type="checkbox"/> ⑧ オプション </div>	<p>光無線ルータ機能のお申し込みが確認できませんでした。 ※本製品の無線ルータ機能をご利用いただくには、お申し込みが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お申し込みいただいている場合は、一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。
<p>無線2.4G・無線5Gのランプ の片方が消灯している</p> <div data-bbox="165 868 344 1067" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> ① 電源 <input type="checkbox"/> ② アラーム <input type="checkbox"/> ③ 光ネット <input checked="" type="checkbox"/> ④ 無線2.4G <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 無線5G <input type="checkbox"/> ⑥ 電話1 <input type="checkbox"/> ⑦ 電話2 <input type="checkbox"/> ⑧ オプション </div>	<p>無線2.4Gのみ消灯する場合 ※無線5Gは緑色に点灯</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本製品の2.4GHz 帯の無線LAN通信が停止しています。 動作させたい場合は、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を起動し、「無線設定」→「無線LAN共通設定」をクリックして「IEEE802.11b/g/n (2.4GHz)」にチェックを入れてください。 詳細は、ヘルプをご覧ください。 <p>無線5Gのみ消灯する場合 ※無線2.4Gは緑色に点灯</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本製品の5GHz 帯の無線LAN通信が停止しています。 動作させたい場合は、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を起動し、「無線設定」→「無線LAN共通設定」をクリックして「IEEE802.11ac/n/a (5GHz)」にチェックを入れてください。 詳細は、ヘルプをご覧ください。
<p>無線2.4Gのランプが赤色に 点滅する 無線5Gのランプが赤色に点 滅する</p> <div data-bbox="165 1283 344 1482" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> ① 電源 <input type="checkbox"/> ② アラーム <input type="checkbox"/> ③ 光ネット <input checked="" type="checkbox"/> ④ 無線2.4G <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 無線5G <input type="checkbox"/> ⑥ 電話1 <input type="checkbox"/> ⑦ 電話2 <input type="checkbox"/> ⑧ オプション </div>	<p>該当の帯域の無線LAN通信と干渉する電波を検出したため、干渉の影響のないチャンネルを自動で探しています。 干渉の影響のないチャンネルが見つかり次第、チャンネル設定が自動で変更され、完了するとランプが緑に変わります。ランプが緑に変わらない場合は、周囲に干渉電波が多いことが考えられるため、本製品の設置場所を変更するなど改善する場合があります。 なお、本機能は「使用チャンネル」が「自動設定」に設定されている場合に限り動作します。 ※DFSについては「使用チャンネル」が「自動設定」に設定されていなくても動作します。DFSとは5GHz帯の無線LAN通信が気象レーダーなどに影響を与えないよう、使用する周波数帯を変更する機能です。</p>

故障かな？と思ったら（つづき）

症 状	原因と対策
<p>電話1ランプ・電話2ランプが 消灯している</p> <div data-bbox="154 293 337 496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 電源 <input type="checkbox"/> ② アラーム <input type="checkbox"/> ③ 光ネット <input type="checkbox"/> ④ 無線2.4G <input type="checkbox"/> ⑤ 無線5G <li style="border: 2px solid black;"><input type="checkbox"/> ⑥ 電話1 <li style="border: 2px solid black;"><input type="checkbox"/> ⑦ 電話2 <input type="checkbox"/> ⑧ オプション </div>	<p>BBIQ光電話のご契約が確認できませんでした。</p> <p>お申し込みいただいている場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 配線が間違っていないか確認してください。 ● 一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。
<p>本製品背面のWANポートの LINK/ACTランプが消灯して いる</p> <div data-bbox="191 596 297 1062" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div>	<p>回線終端装置と本製品の接続が確認できませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本製品に接続している回線終端装置やVDSLモデムの電源が入っているか確認してください。 ● 本製品と回線終端装置やVDSLモデムが正しく接続されているか確認してください。LANケーブルをWANポートにカチッと音がするまで接続してください。 ※LANケーブルは本製品に付属しているものをご利用いただくことをおすすめします。 ● 本製品の電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。
<p>本製品背面のLANポートの LINK/ACTランプが消灯して いる</p> <div data-bbox="191 1166 297 1498" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div>	<p>パソコンと正しく接続されていない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルが正しく接続されているか確認してください。LANケーブルをLANポートにカチッと音がするまで接続してください。 ● 本製品の電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。

インターネットに接続できない

症 状	原因と対策
インターネットに接続できない	光ネットランプが緑色に点灯しているか確認してください。 点灯していない場合 ● 配線が間違っていないか確認してください。 ● 一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。
ブラウザを起動すると、ダイヤルアップ画面が表示される	● ブラウザの設定を変更してください。 変更方法は「● ブラウザの設定 (Windows)」(45 ページ) または「● ブラウザの設定 (Mac OS)」(55 ページ) をご覧ください。
急にインターネットの接続ができなくなった	本製品を再起動することで状況が改善される場合があります。 ● 一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。 光ネットランプが緑色に点灯していることを確認してから、インターネットの接続をお試しください。

インターネットに接続できない (無線)

症 状	原因と対策
本製品で無線接続できない	● 光ネットランプが緑色に点灯しているか確認してください。 点灯していない場合は、本製品がインターネットへ接続できていません。「ランプが正常に点灯 (消灯) しない」(108 ページ) の該当項目をご覧ください、ランプが正常に点灯する状態にしてください。 ● 無線2.4G・無線5Gのランプが緑色に点灯しているか確認してください。 消灯している場合は、無線ルータ機能のお申し込みが確認できません。「ランプが正常に点灯 (消灯) しない」(108 ページ) の「無線2.4G・無線5Gのランプが消灯している」(109 ページ) を確認してください。 ● 接続する無線LAN子機 (パソコン・スマートフォンなど) の無線LAN機能が有効になっているか確認してください。 無線LAN機能は、パソコン本体のスイッチや、キーボードの特定の操作をすることで有効にできます。 ● 選択したネットワーク名 (SSID) または暗号化キーが間違っている可能性があります。 お届け時のネットワーク名 (SSID) および暗号化キーは、本製品側面に貼付された装置情報ラベルを確認してください。
設定に必要なネットワーク名 (SSID) ・暗号化キーが分からない	お届け時のネットワーク名 (SSID) および暗号化キーは、本製品側面に貼付された装置情報ラベルで確認してください。 ネットワーク名 (SSID) を任意の値に変更している場合 ● ヘルプをご覧ください、ネットワーク名 (SSID) を確認してください。 暗号化キーを任意の値に変更している場合 ● ヘルプをご覧ください、暗号化キーを再設定してください。 ※本製品を初期化すると、お届け時のネットワーク名 (SSID) および暗号化キーが有効になります。ただし、初期化すると本製品へお客さまが設定された情報がすべて消去されます。ご注意の上、初期化を行ってください。

故障かな?と思ったら(つづき)

症状	原因と対策
5GHz帯のネットワーク名(SSID)が接続する端末側で表示されない	無線5Gのランプが緑色に点灯しているか確認してください。 消灯している場合 ● 5GHz帯の無線LAN通信が無効になっています。有効に変更してください。変更方法はヘルプをご覧ください。 緑色に点灯している場合 ● 本製品と無線LAN接続をする端末(パソコン・スマートフォンなど)が5GHz帯の無線LAN通信に対応していない可能性があります。2.4GHz帯のネットワークをご利用ください。
特定の端末(ゲーム機や古いパソコンなど)のみ無線で接続できない	端末の暗号化モードが本製品お届け時に設定されている「WPA2-PSK(AES)」に対応していない可能性があります。 ● 「WEP」などのセキュリティ強度の低い暗号化モードを利用する必要がある場合は、「SSID-2」を有効にいただき、パソコンなどが接続しているネットワークと分けてご利用ください。「SSID-2」の詳しい説明は、ヘルプをご覧ください。
SSIDが見つからない(SSID-1/SSID-2/SSID-3)	無線2.4G・無線5Gのランプが緑色に点灯していても、「無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)」が有効になっているとSSIDが見つかりません。 ● 「無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)」の設定を変更する方法は、ヘルプをご覧ください。
本製品と無線LAN端末(パソコン・スマートフォンなど)の電波状態が悪い	本製品と無線LAN端末(パソコン・スマートフォン)までの距離が離れている可能性があります。 ● 電波の届く範囲まで無線LAN端末を移動したり、本製品と無線LAN端末の向きを変えるなどして、電波状態を確認してください。 なお、自動的に干渉の少ないチャンネルを選択して無線LAN通信を行うよう設定することができます。詳細はヘルプをご覧ください。
本製品と無線LAN端末(パソコン・スマートフォンなど)の接続が切れて安定しない	デュアルチャンネル機能、クワッドチャンネル機能(IEEE802.11acのみ)は無線の電波を複数束ねることで、速度を高速化する技術です。しかし、ご利用の周囲に同帯域を使用する無線LAN機器が多数存在する場合は、通信が不安定となり、接続が切断されたり、速度が不安定になる場合があります。 デュアルチャンネル機能、クワッドチャンネル機能を有効にしている接続が安定しない場合は、これらの機能を無効にしてご利用ください。無効にする方法は、ヘルプをご覧ください。
無線LANで接続すると速度が遅い	● 本製品とは別の無線電波と干渉を起こしている可能性があります。「本製品と無線LAN端末(パソコン・スマートフォンなど)の電波状態が悪い」(112ページ)をご覧ください。 ● ご利用のパソコン・スマートフォンなどの無線子機で対応している通信規格が、IEEE802.11ac・IEEE802.11nなどの速度の速い規格に対応していない可能性があります。 本製品で対応している規格は、「BBIQ光電話無線ルータが対応している無線規格と速度について」(118ページ)をご覧ください。

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面が開かない

症 状	原因と対策
「192.168.0.1」と入力してもBBIQ光電話無線ルータ設定画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラウザの設定を変更してください。 変更方法は「パソコンを設定する」(37 ページ) をご覧ください。 ● 本製品背面のLANポートのリンクランプが緑色に点灯・点滅しているか確認してください。 LANポートのリンクランプが消灯している場合は、本製品とパソコンを接続しているLANケーブルを一度、外していただき、再度接続してください。 ● 本製品の「DHCPv4サーバ機能」が無効になっている可能性があります。 有効にさせていただく方法は、ヘルプをご覧ください。 ※DHCPv4サーバ機能を無効にしたままご利用いただく場合は、ご利用の端末へ手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。割り当てる方法は、「無線ルータ機能をご利用にならない場合」(56 ページ) をご覧ください。
ユーザー名とパスワードを要求される	<p>BBIQ光電話無線ルータ設定画面へログインする場合は、以下を入力してください。</p> <p>ユーザー名:「admin」(固定) パスワード:「XXXXXXXXXX」(初期状態の場合)</p> <p>※パスワードを忘れた場合は、本製品を初期化することで、再設定をすることができます。初期化方法は、「初期化する」(74 ページ) をご覧ください。</p> <p>※初期化すると、本製品がお届け時の状態に戻り、お客さまが設定された内容はすべて消去されますのでご注意ください。</p>
機器設定用パスワードを忘れた	<p>本製品を初期化することで、再設定をすることができます。 初期化方法は、「初期化する」(74 ページ) をご覧ください。</p> <p>※初期化すると、本製品がお届け時の状態に戻り、お客さまが設定された内容はすべて消去されますのでご注意ください。</p>
他の対策を実施しても、改善が見られない場合	再起動スイッチを押して、本製品を再起動してください。

BBIQ 光電話に関するトラブル

症 状	原因と対策
BBIQ光電話が使えない	<p>本製品の電話機を接続している電話ポートに対応した電話ランプを確認してください。</p> <p>電話ランプが緑色に点灯している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。 <p>電話ランプが赤色に点灯・点滅している場合</p> <p>BBIQ光電話サーバとの接続に失敗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。 <p>電話ランプが消灯している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> BBIQ光電話のご契約が確認できませんでした。 BBIQ光電話をお申し込みいただいている場合 <ul style="list-style-type: none"> 配線が間違っていないことを確認してください。 一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。
電話の呼び出し音がならない	<ul style="list-style-type: none"> 電話1ポートに対して、複数台の電話機が接続されていないか確認してください。 本製品は電話1ポートに対して1台の電話機でしかご利用いただけません。1ポートに電話機を複数接続されている場合は接続台数を1台にして、再度確認してください。 宅内電話配線が要因の可能性があります。 宅内電話配線をご利用の場合、宅内電話配線の長さや分岐数、品質により、電話のベルがならないことがあります。付属の電話ケーブルを直接接続し、確認してください。
電話の呼出音が通常とは異なる/電話に出ても無音で通話できない	<ul style="list-style-type: none"> 発信者番号表示（有料）をお申し込みいただいている場合、電話機のナンバーディスプレイ機能が有効でない可能性があります。 ご利用の電話機のナンバーディスプレイ機能を有効にしてください。
FAXが送信/受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ご利用のFAXを確認してください。 BBIQ光電話では、一般的なアナログ回線用FAX（G3FAX）はご利用いただけません。 ISDN回線用の機器（G4FAX）はご利用いただくことはできません。 電話ケーブルの差し込み口を確認してください。 電話ケーブルの差し込み口を間違っている可能性があります。 ご利用のFAX機器によっては電話ケーブルの差し込み口が複数存在する場合があります。差し込み口が正しいかを確認してください。 電話1ポートに対して、複数台の電話機が接続されていないか確認してください。 本製品は、電話1ポートに対して1台のFAXしかご利用いただけません。1ポートにFAXを複数台接続されたり、電話機と混在して接続された場合は、正常に送受信できない場合があります。
受話器から「ピピ・ピピ・」または「ピー」という連続音が聞こえる	<p>「ピピ・ピピ・」という連続音が聞こえた場合</p> <ul style="list-style-type: none"> BBIQ光電話無線ルータ設定画面で「メンテナンス」の「設定値の初期化」からサービス接続の再設定を行ってください。詳細は、ヘルプをご覧ください。 <p>「ピー」という連続音が聞こえた場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ご契約のない電話ポートに電話機が接続されています。配線が間違っていないか確認してください。

仕様

ハードウェア仕様

	項目	仕様	備考
WAN インタフェース	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1ポート	
	インタフェース	ブロードバンド接続ポート IEEE802.3 100BASE-TX/1000BASE-T	MDI/MDI-X 自動切替可能
	伝送速度	100Mbps/1000Mbps	自動認識/ 固定モード
	全二重/半二重	全二重/半二重	
LAN インタフェース	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 4ポート	
	インタフェース	IEEE802.3 100BASE-TX/1000BASE-T	MDI/MDI-X 自動切替可能
	伝送速度	100Mbps/1000Mbps	自動認識
	全二重/半二重	全二重/半二重	
無線LAN インタフェース	IEEE802.11a		
	周波数帯域/チャンネル	[W52]5.2GHz帯 (5150-5250MHz) : 36/40/44/48ch※ [W53]5.3GHz帯 (5250-5350MHz) : 52/56/60/64ch※ [W56]5.6GHz帯 (5470-5725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	※屋内限定
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	
	伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	
	IEEE802.11b		
	周波数帯域/チャンネル	2.4GHz帯 (2400-2484MHz) / 1 ~ 13ch	
	伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式	
	伝送速度	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)	
	IEEE802.11g		
	周波数帯域/チャンネル	2.4GHz帯 (2400-2484MHz) / 1 ~ 13ch	
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	
	伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	

仕様 (つづき)

項目	仕様	備考	
無線LAN インタフェース	IEEE802.11n		
	周波数帯域/チャンネル	2.4GHz帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch [W52]5.2GHz帯 (5150-5250MHz) : 36/40/44/48ch※ [W53]5.3GHz帯 (5250-5350MHz) : 52/56/60/64ch※ [W56]5.6GHz帯 (5470-5725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	※屋内限定
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式/搬送波数 [HT20] 56、[HT40] 114、MIMO (空間 多重) 方式	
伝送速度	2.4GHz帯 [HT20]:216.7/195/175.5/173.3/156/ 144.4/130/117/104/78/72.2/65/ 58.5/52/39/26/19.5/13Mbps [HT40]:450/405/364.5/360/324/ 300/270/243/216/162/150/135/ 121.5/108/81/54/40.5/27/13.5Mbps 5.2GHz帯 (W52)、5.3GHz帯 (W53)、 5.6GHz帯 (W56) [HT20]:216.7/195/175.5/173.3/156/ 144.4/130/117/104/78/72.2/65/ 58.5/52/39/26/19.5/13/6.5Mbps [HT40]:450/405/364.5/360/324/ 300/270/243/216/162/150/135/ 121.5/108/81/54/40.5/27/13.5/ 6.5Mbps (自動フォールバック)		

項目	仕様	備考	
無線LAN インタフェース	IEEE802.11ac		
	周波数帯域/チャンネル	[W52]5.2GHz帯 (5150-5250MHz) : 36/40/44/48ch※ [W53]5.3GHz帯 (5250-5350MHz) : 52/56/60/64ch※ [W56]5.6GHz帯 (5470-5725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	※屋内限定
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式/搬送波数 [VHT20] 56、[VHT40] 114、[VHT80] 242、MIMO (空間多重) 方式	
	伝送速度	[VHT20]:288.9/260/234/195/175.5/ 156/117/78/58.5/39/19.5Mbps [VHT40]:600/540/486/405/364.5/ 324/243/162/121.5/81/40.5Mbps [VHT80]:1300/1170/1053/877.5/ 702/526.5/351/263.3/175.5/ 87.8Mbps (自動フォールバック)	
	アンテナ	送信3×受信3 (内蔵アンテナ)	
	セキュリティ	SSID、WEP (128/64bit)、WPA-PSK (TKIP、AES)、WPA2-PSK (TKIP、AES) 11ac、11n はWPA-PSK (AES)、WPA2- PSK (AES) のみの対応	
電話ポート	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック (RJ-11) ×2ポート	
	選択信号	DTMF PB/DP10pps/DP20pps	
外形寸法	40 (W) ×171 (D) ×188 (H) mm	突起部分およびスタンドを除く	
動作電源電圧	AC100V±10% 50/60Hz	電源アダプター使用	
動作温度範囲	0℃～40℃		
動作湿度範囲	10%～90%	結露しないこと	
消費電力	最大20W		
質量 (本体)	約600g以下	スタンドを含む	
質量 (電源アダプター)	約230g以下		
電波規制	VCCIクラスB		

BBIQ 光電話無線ルータが対応している無線規格と速度について

無線の規格、周波数帯域、アンテナの数による速度の違いなどをご案内します。

● 無線の規格について

本製品では周波数の帯域や特徴の異なる「IEEE802.11ac」、「IEEE802.11n」、「IEEE802.11a」、「IEEE802.11g」、「IEEE802.11b」の5つの規格に対応しています。

まず、ご利用のパソコンや無線 LAN 子機、Wi-Fi 対応機器がどの規格に対応しているかを確認してください。

無線規格の種類と特徴

無線規格	特徴
11ac	最新の規格で、超高速通信が可能だが対応機器が少ない。
11n	高速通信が可能で、対応機器が増えつつある。
11a	11gより電波干渉に強いが、対応機器が少ない。
11g	対応している機器が多いが、電波干渉に弱い。
11b	スピードは遅く、電波干渉にも弱いが、対応機器は多い。

● 周波数帯域について

無線 LAN の規格によって、周波数帯域に「5GHz 帯」「2.4GHz 帯」があり、それぞれ特徴があります。

2.4GHz 帯は、電子レンジやコードレス電話、Bluetooth、ワイヤレスヘッドフォン、無線方式のマウスやキーボードなどにも利用されているため、電波同士がぶつかって通信に影響を与える場合があります。

ご利用の機器が対応していれば、電波干渉に強い 5GHz 帯のご利用をおすすめします。

周波数帯域の種類と特徴

周波数帯	特徴	対応している無線規格
5GHz帯	電波干渉に強いが、対応機器が少ない。	11ac、11n、11a
2.4GHz帯	電波干渉に弱く、通信が切れたり不安定になりやすいが、対応機器は多い。	11n、11g、11b

使用許諾条件

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

--

LICENSE ISSUES

=====

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

=====

=

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

使用許諾条件 (つづき)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by
Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

--

Ethernet(R) は米国 XEROX 社の登録商標です。

Linux(R) は、Linus Torvalds 氏の米国及びその他の国における登録商標です。

--

本製品は、GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (以下「ソフトウェア使用許諾契約書」)に基づき、フリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュールの提供を希望する場合は、下記メールアドレスまでお問い合わせください。なお、媒体提供の際に別途実費を申し受ける場合があります。

メールアドレス (hgw_gpl_mit@nb.MitsubishiElectric.co.jp) ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、各ソフトウェアの使用許諾契約書をお読みください。尚、第三者による規定であるため、原文(英文)を掲載いたします。

--

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below,

使用許諾条件（つづき）

refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of

this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under

使用許諾条件（つづき）

this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding

those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively

使用許諾条件 (つづき)

convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author  
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.  
This is free software, and you are welcome to redistribute it  
under certain conditions; type `show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
Yooyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program  
'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
```

```
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989  
Ty Coon, President of Vice
```

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

--

索引

数字

2.4G	22
5G	22

B

BBIQ 光電話アダプタ機能.....	36
BBIQ 光電話が使えない	114
BBIQ 光電話無線ルータ設定画面 ...	32, 113

F

FAX	114
-----------	-----

I

IP アドレスを固定	56, 62, 64
------------------	------------

L

LAN1 ~ 4(LINK/ACT) ランプ	24
LAN1 ~ 4(SPEED) ランプ	24
LINK/ACT ランプ	24, 110

M

Mac OS	50, 64, 103
--------------	-------------

S

SPEED ランプ	24
SSID	111, 112

W

WAN(LINK/ACT) ランプ	24
WAN(SPEED) ランプ	24
Wi-Fi	18
Windows 7	42, 62, 88, 98
Windows 8	37, 56, 84, 92
Windows 8.1	37, 56, 84, 92
WPS	18, 83
WPS ボタン	24

あ

アラームランプ	21, 108
暗号化キー	111

い

インターネット	83
インターネットに接続できない	111

お

音	31
---------	----

か

壁掛け	26
-----------	----

き

機器設定用パスワード	113
機器設定用パスワードを変更する	69
機能一覧	19

け

契約内容を確認する	36
-----------------	----

こ

故障かな?と思ったら	108
------------------	-----

さ

再起動する	72
再起動ボタン	23

し

周波数帯域	118
初期化する	74
初期化ボタン	23, 77

せ

セキュリティ	14
接続	28
設置	25
設定画面を開く	33
設定を復元する	80
設定を保存する	78
セットを確認する	20

そ

速度	112, 118
----------	----------

た

ダイヤルアップ画面	111
縦置き	25

ち

着信	30
----------	----

つ

通話できない	114
つなぐだけネットスタート	18

て

電源コネクタ	24
電源ランプ	21, 108
電波状態が悪い	112
電話 1 ランプ	22
電話 2 ランプ	23
電話ポート	24
電話を受ける	30
電話をかける	30

ね

ネットワーク名	111, 112
---------------	----------

は

ハードウェア仕様	115
パスワード	69, 113
パソコンを設定する	37
発信	30

ひ

光電話	30
光ネットランプ	21, 108, 109
必要なご契約	19

ふ

復元	80
ブラウザ	33, 111
ブラウザの設定	45, 55

ほ

保存	78
----------	----

む

無線 2.4G ランプ	22, 109
無線 5G ランプ	22, 109
無線規格	118
無線接続	83
無線接続できない	111, 112
無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)	92
無線ルータ機能	19, 36, 37

ゆ

ユーザー名	113
有線接続	83

よ

呼び出し音	114
-------------	-----

ら

ランプ表示	21, 24
-------------	--------

BBIQ光電話無線ルータ XS-5A-01 取扱説明書

発行日 2019年5月
発行責任 三菱電機株式会社

-
- 本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
 - 本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、弊社はその責を負いません。
 - 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。